

米国植民地日本と奴隷日本人と言う現実！:戦後日本と現虚栄退廃日本の真相

<本文略＝奴隷日本> 07/6/20,8/25

前代未聞の話である。日本での高齢就職は極めて難しく、故に年金確保は生死に関わる。退職後生活年金の記録を喪失したなどと簡単に信じたならば貴方は島国無垢日本人だ。ここでは諸氏に問題として預けよう。世界有数の超働き日本人だが、その結果がこの沙汰である。これは一例で現実を良く見るとそれだけで到底済まない現実多数が見える。

- ①バブル崩壊後10年、経営者は地獄を味わい、その反動が超管理労働現場となった。社員減少と非正規社員、失業の異常増と言う”格差化社会の出現！”。贅沢横行の一方で家無し者多数があると言う過去日本に見られない光景が実現している。
→:共に生きると言う健全姿勢を否定して、自分を上等、他人を下等と見る格差化を”**悪魔思想**”と言う。後に詳細重大議論。既に20年前、米国ベーカー国務長官は日本の所得構造を top heavy にせよと勧告、米国意向に沿う形になってる事に留意。格差化進行日本で何が起きたか？。犯罪の量質の異常増と自分だけよければ良いと言う最悪の人心荒廃である。悪魔思想と言うのは冗談などでないのだ！。
- ②学校、職場、地域での虐待差別横行は悪魔化日本人の典型兆候なのである。
- ③危険情報を有しながらもの有機水銀、薬害肝炎、エイズ等工業毒薬害多数の行政放置、エイズ同様が長期放置の石綿問題がある。外国では上方排気だが日本ではディーゼル車ガスの路面排気、現在肺癌は最大死因にある。建設資金回収済みの東名名神高速道路は無料解放すべきだ。沿道住民と運転手が救済できて運賃物価減にも作用する。逆に地方無用道路多数が山林農業資源(土地)を潰す裏切り行為と指弾できる。
- ④戦後日本経済成長が米国等技術導入と米国市場開放で形成された事は有名。だがその代償として沿岸河川資源と山林農業資源双方を大規模に潰す裏切りがあった。周知の温暖化進行はまず住社会基盤と食資源の同時破壊天候異変につながる。経済成長が肝心の生存資源を破壊する愚も悪魔所業の中心にある事を認めねばなるまい。
- ⑤財政会計と言う硬い話で納得できる結論(a),(b)は次のとおり。
(a)そも政治は国民総生産 500 兆において 80 兆国家予算分捕り競争、だから政権とはこの金を得る事(**金権政治**)。空っぽ国民はこれを知らず、政治無関心と言う惨状。
(b)2006 年一般会計 79.7 兆筆頭は 25.8 %社会保障費(低所得層的)、次が問題の 23.5 %国債費(富裕層的)。後者元本償還はともかく利子払いが実は大問題。富裕層国債所有は本来彼ら納税で賄われるべきを逆に利払いの2重収奪。結果巨額累積赤字(現 800 兆円)日本は米国の資本物資双方補完国、それは勤労国民収奪から可能になる。高額所得層は資本輸出に貢献、低所得層に金を持たせても米国に貢献しない。即ち所得を新米的少数高額者に集中する。長期借金国家財政に食らいついた結果で将来財政破綻が必須化。先延ばしには社会保障を減額したい。それには国民を出来る限り財政無用にしたい。
(c)阪神大震災で判明した事は、国は生産基盤回復への金を出したが、肝心目的の被災国民生活には出し渋った事実がある。誰のための国家かな？。
(d)精々労働年齢間ではともかく年金支給前年齢で奴隷日本人は早く死んで貰いたい。美食ブームと糖尿病(医療費用総額 1/3 !,労働強化とストレス病増大,馬野氏(アメリカ帝国の大謀略)にれば米国のハンバガーショップは貧民給食事業で、ミンチ肉に女性ホルモンが入ると言う。米支配層のやる事には疑い過ぎと言う事はあり得ないと日本人に警告。

⑥人はある程度の小金持ちになると家の周りに塀を巡らし、家、衣装を小奇麗にして外装に金をかける。企業商店も同様なのは都市繁華街等を見れば判る。と同時に人心はお高くなり、よそよそしくなる者である。不潔は勿論好ましい事でないが貧しい時代、成長時代の裸開けっ放しの付き合いが衰えてる事に大方は気づくだろう。所得を平坦でなく高額偏在にすると彼は華美贅沢を競う以外に金の使い方がなくなる。これが虚栄化経済社会(筆者命名)の現日本である。ならばこれに外れた者はどうか、個人享樂に耽る。小享樂商売が過去になく繁榮。携帯中毒、ゲーム、ギャンブル、芸能界、スポーツ界での人気者が仕立てられ、空っぽ(詳細後述、大規模な騙しを感知しない人々の意味)な人も増大してる。漠然とした不安を抱えてるのだ。だから不満ストレス、トラブルも多いが彼らは真の敵を知らない。経営者は過去の辛酸を恐怖し、己企業生き残りだけしか念頭にない。あの日産、日立すら傾いた時期があった。勤労者も妻子住宅ロンを抱え、管理強化企業で己生き残りを賭ける本質は同じ。一度この体制から外れると容易に這い上がれないシステムができてる出ないか。残るは絶望である。なぜならばこの状況で野党が全く機能していないのだ。以上の状況を**分裂させて支配せよと言う**。なぜかよな不幸(その本性の本格化はこれからだが、国民過半数は現状満足、だが彼らは空っぽ)が必要なのか? その真因を知るはマスコミから除外された**専門家、政治家、組織指導者等の国民一部のみ**である<筆者は内外有能 ジャーナリスト、研究者等多数からの教育的指導で今の情報を統合確立した経緯あり>。

⑦だが絶望は愚か者の結論と申します。以上病状を逆転するだけで、実は救済法は明確に存在する。それはまず一つの真実(真実は本質的に一つだけ!)を核に、国民が小異を捨て、大同団結すれば勝利できる。その鍵は今満足にある過半数国民が己のエゴを克服できるか否かにかかるだろう。それは未来を読み解き、決断する事に成る。それは論理だけが成し得る作業になる。

⑧**現実には目に出来ない未来は論理のみでしか解析判断できない!**

故に事前に判断材料になる情報すべての真偽を徹底議論検証せねばならない作業から仕事は始まる事に成る。然るに筆者は一般市民を無礼にも空っぽな人々と蔑称したが嘘は申ししていないのです。その事は以下の大規模な騙しに気づけば即了解されよう。ここで筆者が何者かに興味を持つ事は無用。真理である $1+1=2$ は乞食が言おうが王様が言おうが”真理は人に無関係に事前存在する!、嘘は個性的だが、**真理に個性は無い!**。それが万人真理!。**大同団結**できる根拠である。通常それは科学真理、歴史事実と呼ぶ。因みに筆者はサラリマンと失業者経験を持つ物理学者、かつ敵対者を抱えて歴史政治経済思想宗教の統合研究に従事した事がかく言う立場にさせた。* 以上は序論相当です。

[1]悪魔思想:

本報告の核心部分で科学基礎を見直す作業後から始まり,宗教,歴史,政治の理解で終わる。

- * 自然数、整数としての0は常識とおり無だが、実数0となると事情は一変する！。
- * 物理真空はただの無ではない！。それどころかそこが超常現象の舞台になる。
現代量子物理と論理学で超常現象了解！。宗教天啓預言は超能力指導者の成果。
- * 宗教本質とサタン予言:現代ゲルマン人世界支配歴史事実と見事に符合！。
- * 現代世界はサタン手中にある！。サタンを認識,戦う世界の人々へ。

(1)自然数、整数としての0は常識とおりの無だが、実数0となると事情は一変する！。

(a)自然数とゲーデル不完全性定理の真意(有限な内容は誰も原理上、決定可なのだが):

{0,1,2,3,4,...}は誰もが知る自然数の集合Nである。問題は点線の先の最大値Mだがそれは無限と言う。これは確定した数として誰も言う事は不可能だ。誰かが最大値をMと主張してもM+1はより大きい自然数にできる。だからNには明白に**非決定性=不可知性**が存在する。ゲーデルは1931年「自然数論を含む(数学的)理論T内部には真偽決定不可能な命題Xが存在する」と言う事を発表。基本的にそれは全て**無限**に由来するのだ。1928年には「(決定論的命題の)真理は論理証明可能」と言う人類金字塔的成果を発表。原因から結果一つを確定する科学大前提！。

(b)実数0は整数0と同じ値である筈なのにな何と「無」と確定できない！。

{0,1,1/2,1/3,1/4,...}は誰もが知る自然数の逆数の集合K。例により点線先の最小値だが、それは自然数0になる事が証明される<各自検証を>。だがそれは同時にNの最大値Mの逆数で、それは決定不可能な物であったはずだ！。確かに整数0は無として定義されたが、1/Mは非決定であり、決定しない相手に着いて決定的な命題を述べる事は不可能である。**だから実数0は単純に無とも有ともいえない**。実数は一般に有限確定な自然数P,Qの分数=P/Qとして表示不可な外の数として定義されるから有限確定でない。有限ならば確かに人間は原理上確定可だが無限だと不可。次にその現実証拠を述べて見よう。

(c)実験検証済みの標準理論では何と玉を想像する素粒子の大きさは実数0である！。

「現在電子は10e-16cmの精度で依然として点状粒子である事が実験的に検証されている<数理学1984/6>」。湯川先生をはじめ不満な学者多数が大きさを持つ仮説多数を試みたが成功例がない。それどころか標準理論形式で重力をも含む最終統一理論が内山博士(1956)の一般ゲージ理論とファ-ドフ,ポポフ両博士の量子化統合として完成済み(が学者実験装置屋失職を恐れ学会無視)。標準理論によれば無であるはずの物理真空全域に於いて+-対称物理量な素粒子+aとその反粒子-aが突発自然生成し,極短時間で即消滅の無限反復である**真空偏局反応**が世界の学会で理論実験双方で公認されてる。その心は、 $0=+a-a=0$。

$$\begin{array}{cccccccc} +a & & +a & & +a & & +a & & \text{"真空偏局反応"} \\ 0 < & > 0 < & > 0 < & > 0 < & > 0 & \dots\dots\dots & 0 = +a - a = 0 \dots\dots \\ -a & & -a & & -a & & -a & & \rightarrow \text{時間進行方向} \end{array}$$

ここで諸氏に喚起したい事は「無から有が生じる事は論理としては因果律に反したデタラメ矛盾」である事だが世界公認の真理。さて(b)で実数0は無とも有とも確定しないと言う事を指摘した事を想起頂きたい。さてさて直前に無から有が出る事は論理矛盾、何でも可能！。そうである！、物理真空は一つの魔法世界なのである！！。物理学者熟知の**真空偏極反応は基礎認識に革命をもたらす**。ここで重大な論理矛盾の意味を確認しよう。

(2)超大局統合科学としての論理学入門:

(a)命題とは断定的文で真偽判断の対象になる文。ロシア産蟹は禁輸にある。Qは条件Pが満足できれば動く。命題真偽判断はだから人生の中心仕事が判る程に日常である。命題は一般に「(原因)AならばB(結果)である」の前提Aと結論Bの因果律の形式をとる。

(b)因果律:一つの確定した原因の下に結果が一つに定まることを言う<科学の基礎>。

自動販売機のボタンAと飛び出る商品Bの関係みたいな物。無から有は生じない。これは広い意味での因果律である。経験的に因果律は日常で良く成立する。

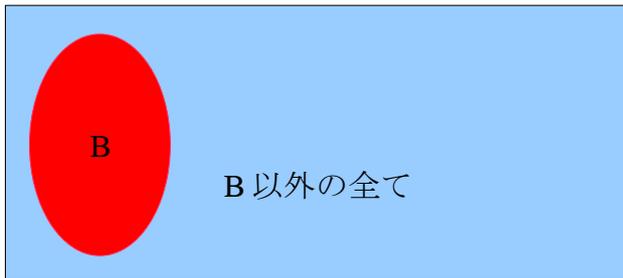
注:日常経験の因果律には例外も結構多い。たとえば種を撒けば芽が出るは精密には生命高分子系化学現象で、マクロな大きさに係わらずマイクロ確率的(情報欠落)世界の量子化学が絡むからだ。後の(d)注3を参照。だから先天障害等も確率的、誰かが不運なくじを引かねばならない。マクロ経済系も予測不可能(情報欠落)なマイクロ経済行動も含む集計の結果だから、予測にある程度不確定(確率的)要素が侵入する事は避けがたい。

(c)命題と否定命題:命題内容を否定文に変えると真偽も反転する。

だから「肯定文と否定文双方同時に実現(真)と言う」事を矛盾と言う。それは実現不可が一般論理になる。実現(観測)とは真実である事に注意。実現こそが実は”真”の定義。

(d)矛盾と崩壊定理:<矛盾を認めると因果律の秩序が破綻>。

原因Aの下に結果がBとBでないの二つが同時に成立が矛盾の定義である。然るにBでないと言うことはB以外の全てをさすのだから、両者合算すれば全てとなる。即ち原因Aに対して何でも起こるは科学法則束縛から逃れた魔法デタラメ世界を意味する。



補足:原因Aに対して結果がBとBでない何か一つでも起これば、総じて結果はB以外の全てが可能になってしまう事に重大性がある。興味在る方は論理学参考書を。槍と盾の話の如く物質世界では一つすら不可能が常識として判るだろう。

注1:矛盾は物質世界では実現不可能、なぜならば観測される事は常に一つであって、Wイメージで物が見える事はあり得ないからだ。槍が縦を破り、かつ同時に破らないを見るは不可能!。物質世界はだから無矛盾であり、それ故に因果律=科学法則が成立してくると言う大局結論がえられる。物質世界の否定は真空世界、だから物質世界が無矛盾ならば、論理対偶命題として矛盾実現あらば真空世界と言う風な簡易了解法が成立に留意(3)。

注2:だから矛盾は現世では人間の言語、嘘、紙面、映像、ソフト、契約、設計ミス等として起こる。

注3:情報喪失と因果律の破れ(確率量の必然性):

原因Aに無限大が絡む非決定性発生では因果律一意性が破綻し、結果が多岐になるサイコロ的確率現象化が起こる。但し結果は必ず一つだから矛盾にはならない。

無限大は非決定。だから原因に不明があって結果が確定ではおかしい事になる。典型はマイクロ原子分子世界の量子力学、”ゲーデル不完全性定理”に相当する現象である。

非決定性発生は情報喪失に等価。だからマクロ日常での情報欠落での判断には確率要素が避けがたいと言う視点も重要。情報理論(通信工学)での情報欠落量としての測度=情報量は確率量と一体関係にある。完全確定(確率1)した情報量は0<常識の逆?>。

(4):サタン予言は現代ゲルマン人世界支配の歴史事実と見事符合してくる。

((a)超常現象と宗教揭示<注:筆者には比較宗教学の専門知識はない>.

歴史的に宗教がその権威を確立するには二つの一般条件があると見られる。一つは救済の教義である。民族等が空前絶後の困難に直面した時期に救済指導者として天啓を携え、救済の教えに当たると言うのが各国普遍に見られる歴史である。ユダヤキリスト教、イスラム教然り。仏教発祥は仏陀個人苦悩からの解脱悟りとして始まるが、その後の弟子たちによる大乘教に至っては民衆救済になる。現代既成科学の立場では否定的だが、宗教発祥には必ず超常性が付随。奇跡と予言である。それはユダヤキリスト教聖書に詳しい。イスラム教はムハンマド自身の天啓自体が奇跡になる。後に般若心経が超常的たる事も言及。\$紙幣裏を見るとピラミッド頂上に片目がこちらを見てる(in God,we trust)。オリエント文明の先駆者はエジプト、彼らは一神教開祖、それはユダヤ人に継承される。この片目象徴の意味は霊世界(万能力者としての霊、全知全能神=無からの全宇宙創造者)は現世を注視するの意味、霊と神は慈悲深い存在で(コラーンでは反復記述される)あり、**地上困窮が見過ごせなくなると天恵者を指名、彼らを通じて救済をさしのべるのである。**ユダヤキリスト教、イスラム教、ブーズ教、日蓮、浄土真宗、天理教等々みな大方、このパターンを踏む。従って結果は民衆救済の教え(正義、共存の教えと予言)である。

(b)宗教預言:

預言(prophecy)と予言(prediction)は本来の意味が違う事に注意。結果効用は類似になるが。預言とは神の意思を託された人間が成就目的で歴史形成する意味になる。大規模人類史 予言として言及不可避なのはユダヤキリスト教の旧約聖書である。イスラム教も旧約聖書を共有する事に留意。筆者見解では同聖書の趣旨は動物、無垢原初人類は生きるの意味で(宇宙生命創造主としての神の意思が創造物の健全持続にあると見て間違いなかろう)神の意思に沿うものであった。だがアダムイブの楽園喪失寓話に典型象徴される意味は

人間が「不完全な自立的知恵を持つ事での神離反」が最大主題に成ってる事だ。

”狡猾な蛇はイブに神の様な知恵を授かると言う実を食べる事を誘惑する。夫アダムにも勧める。これは楽園を授かる時、神から禁じられた事だ”。これを知った神は怒り、両名を楽園から追放、以後人類は労働苦を伴う生活の時代になる。

旧約冒頭創世記にあるこの話の真意を語る書を筆者は知らない。神は完全である。他方、**神離反人間の欲望、浅知恵は不完全であり、それが不幸をもたらすと言う示唆だろう。**

一週間が7日の起源だが、6日で神は世界を作り、7日目に休息したと言う。それで6は未完成の数字、7は完成完全の意味があると言われる。完全と不完全に係わる姿勢には深い意味思想が潜んでいる。ラテン系日常は一見ズボラに見えるが、芸術科学追求では 完全を追及(仏のデドロ、ダランベール百科全書、ブルバキ数学全書、イタリーのミケランジェロの芸術、ダビンチの仕事成果多数、ロシアの芸術科学)、他方ゲルマン系はこれが希薄に見える。カソリック(戒律厳格) vs プロテスタント(個人信仰)、散文と悟性 vs 詩と夢想、右能直感大局科学 vs 左脳分析局所科学の違いであろう。桐山氏指摘に寄れば異常肥大だが不完全で欠陥多い現代物質文明(大脳局所分析科学)に比較して社会政治性(間脳直感大局科学,宗教性)の後退は後者を無視してる差異に由来してると言う。

(c)神の反逆者三サタンの起源。〈以下の太字下線は筆者〉。

”創造神は天使たちにアダムを拝せよと命じたとき、皆ひざまずいたがサタンのみ拒絶、神の叱責に「私のほうがあんな者より上等です。貴方は私を火で作し、彼らは泥で作ったではありませんか」と言う。神は怒り、サタンは天国墜落命を受ける。彼は(復活の日)まで猶予を願うと許される。「おかげでとんだ横道に迷い込んでしまった。その仕返しに神の真っ直ぐな道の途中で人間どもを待ち伏せし、前後左右から襲いかかり、大部分は(神への)感謝の気持ちなどすっかり忘れてしまいましたよ」”ーコラーン(上)p204

注:コラーン(上)p204,七 胸壁ーメッカ啓示、全 205[206]ー(井筒訳の筆者要約,岩波)、
原典は旧約聖書外伝にあると聞かすがは筆者未見。

結論を先に言えば本文核心はこの一文に尽くされる。だから以下はその論理解析。以下で筆者はゲルマン系民族を指弾する事になるがこれは民族差別でないかと言う非難を承知する。それは空っぽ日本人(世界市民)へのショック療法と彼ら更正の為一途にある。

①神は不平等,差別が事の他嫌いである。人は共に平等に生きるべし！。

組織利益最大化に最適な指導者を獲得しようと思えば、世襲貴族性を廃し、門閥出身区別なく、ただ実力のみを機会平等で測定評価して選ぶのが常道と言う物だ〈民主主義原理〉。

富裕世襲師弟は高慢で下に冷淡、故に植民地支配奴隷頭には適する(自民世襲議員制)。

人の出生は本人意思と無関係なサイコロである事が否定できない<(2)(b)参照>。天才も障害者も業務能力で区別されても人間存在としては平等でなければなるまい。

②神に憎悪反逆する者としてのサタンは己を高等人種と見、他者を下等と見る差別主義者。

この教訓は大きい、是ほどに他人から見て嫌な者はない。自分だけが特別、他人は別者と思う国民国家は衰退する。歴史的には天皇貴族と武士制度であり、彼らは武力で制圧、多数国民を年貢徴税で苦しめたは確かにサタン。封建身分制度後には新たに資本主義が適者生存ダーウニズムを信条にしており、変わらず身分制度がまだあるのが事実。特にソ連崩壊後の米一国主義化後は資本主義競争選別が過酷化した経緯あり、後に再論。近年日本の話題問題が格差化に集中する事は健全性回復の為の良い条件と見られる。

③彼らは一度天国から落ち、地獄街道をさまよった経緯がある〈横道〉。

人類祖先アダムがアフリカ人はDNA鑑定で証明済み。そこから原生地を北上したのが人類史。北に進む程に白人化、その極限が流浪のゲルマン人。北極に至れば後戻りしかない。南下としてのゲルマン民族大移動は余りに歴史に著名。それは必然的に先住民族領土への侵入と戦乱が不可避化。既に都市文明を築いていた当時のローマ人観察によれば、ゲルマン人は国家を持たず、部族移動的な民族で、放埒無法で、国家法秩序体制に馴染まなかったという。のみならず彼らには神が無い様にも見えるとも記述。意外に思うだろうが、米国筆頭民族はアングロサクソンでなく、ドイツ系である、アングロサクソンも先住ケルト人を武力制圧する事で英国島を後から盗んだゲルマン系出身の民族(英国皇室は元ハノーバ家のドイツ系)。日高義樹氏(アメリカ国粹主義)によれば、彼らは平和だと不安でいたたまれず、戦争になるとホットすると言う逆さ民族。(サタン特徴一つに常識逆転がある事、神に背く者が源定義だからである)。決定的にこの異常思想を表明してるのが、ドイツ人哲学者ヘーゲルの言葉である。”世界史は幸福の舞台でない、何となれば講和の時代は歴史の白紙ページであって、この退屈さは人間に相応しいものでない”。因みに有色人種滅亡を企むと言われるドイツ由来の光輝結社、スカルボンズの思想根源にこのヘーゲル哲学(正合反の弁証法)とやらがあるとされる。米国建国では先住民族インディアン食糧である野牛絶滅で勢力衰退すら図った。オーストラリア

もかつては白豪主義。アジアでは長らくインドを植民地化、アングロゲルマン系はその過去を見れば後追い他民族国家侵略歴史ばかりである。その最新史がイラク侵攻だ。

④しかも「人類を神離反にして迷いの道に誘惑、又は地獄の道に落とし込む」。神造物である人間を地獄に導く。それは神への憎悪復讐に相当する。**待ち伏せし**、は逆さまである。横道に迷い遅れた者がどうして待ち伏せできるか。**後追いで襲うのだ**⑤。

➡宗教革命と産業革命、資本主義、帝国主義戦争、有色民族国植民地化、欧米財閥貴族と秘密結社、CIA、既成マスコミと既成学会の情報支配等に歴史を解くヒントがある。

(a):**宗教から物へ＝サタン現代化<独逸宗教革命、英国産業革命、資本主義成立>**

人生正解は生産は生きる程度に程々に**(遣り過ぎると過剰労働と資源飢渴と争奪)**、残る時間を芸能文化等の健全な楽しみに”主眼”に置くと言う南方ラテン系生き方にある。争奪とはサタン思想の戦争でもあり、だから殺生忌避仏教では肉食主義にすらなる。

人間前の動物は無生産で、基本的に採取生活、生存の意味では「保守平和生活」に間違いない。人間後は知恵を駆使した生産発展史に成る。生活は便利になると同時に欲望は肥大一途。その結果、領土(資源)渴望から、**戦争＝共存否定**を日常とする。生存の意味で不安定化。西欧に端を発する宗教産業革命のこの傾向は資本主義で徹底化、更に地球規模化。結論から言えば進歩停滞中世教会権威を打破したのがドイツ人ルター 16 世紀宗教改革だ。教会から個人信仰のルターカルバン宗教改革は保守カソリック支配伝統、そして遂にはキリスト教呪縛を破る事になる。職業重視プロテスタントがゲルマン系諸国等で勢力伸張。海洋時代も加え、イスラム輸入で思想科学も発展。18 世紀には英国で蒸気機関、紡績機発明(産業革命)。アダムスミス国富論は自由主義経済理論になる。**人は脱宗教から「物と金」の資本主義に一揆突入**。経済での市民階級台頭と共和革命、交易と資源領土を巡り、戦争も大規模化！、16 世紀 160 万から 20 世紀 1 億 780 万と戦死者は指数関数的上昇。野蛮の現代である<田中考、イスラムのロジック>。

(b):**自由経済と独占資本成立(欧米世襲貴族と結んだ秘密同盟世界支配)**

変遷を経て 19、20 世紀前半までには英国が世界を支配。大英帝国支配は有色民族国に植民地支配の苦渋を飲ませる。その間、欧米資本主義は競争発展の結果(共存否定だから)、少数独占資本(Rockefeller,Rosschild,...)を形成。彼らは**没落防止同盟**として英国皇室を筆頭とする世襲欧米貴族と結び、世界支配の為の少数世襲支配秘密同盟(メーソン)やスカルボンズ(米国)を結成。表向きは生産物豊富と制度上民主主義体制により国民を騙し、秘密同盟少数支配全体主義の世界網を野望する。

(c):**現世界のサタン(米世襲支配層と手下＝CIA一産軍複合体一大マスコミ)**

①現代に言及すればサタンはゲルマン至上主義ナチスドイツで人種戦争として典型出現。

敗戦後に彼らは米 CIA に移動(paper clipp 作戦)。支配者手先として残忍ナチスはまだ生きてるのだ。NAH(ゲルマン系欧米独占資本財閥と英欧貴族)による表向き民主主義を偽装した(欧米日本)裏の独裁体制(政治経済思想統制(マスコミ)+軍事警察)である。時代は遡って欧米資本主義内部の内部分裂を回避する為に「逆転戦略」として反宗教のソ連共産主義すら彼らサタン陰謀で成立(既成歴史家(学会学校)はこの事実を無視)。ソ連共産主義失敗は今日世界の人々に「共に生きる事の方法」否定的にし、資本主義加速に強力作用してる。サタン国家米の超虚栄効果が全世界に流行波及してるのだ。そもそもソ連型共産主義は官僚独裁化でく失敗すべくプログラムされてたのでないか？。

②ソ連崩壊後、欧米日本では競争主義が幅を利かし、経済数字は上昇傾向になるが勤め人に格差拡大環境に激変、浮浪者・豪華生活共存の米国型犯罪多発不安定社会化に進行。世界経済成長はエネルギー大消費と化し、予測にあった地球規模天候異変も現実化。年中

戦争もやるが平時は世界自由主義市場化推進で米企業は各国経済進出。世界の米国支配の為に地球天候異変があろうが「資本主義加速＝世界大量消費化社会」が止められない。

③イラク侵略は米国内石油飢渴が間近になり、中東石油略奪支配が不可避化した事とクリントン軍縮時代に危機にあった米軍需産業復興が目的で、ナチ系米右翼が大陰謀。ブッシュはドイツ由来の秘密結社スカルボンズ社員。彼ら思想はナチスと同じである。現代サタン核心は彼らにあり、その典型歴史こそが次の前代未聞の陰謀事件である。

④典型は9/11双子塔テロ偽装演出で、真相はブッシュにつながる繋がる米軍秘密部隊による遠隔操縦装置による追突爆破である<ネット、出版物で信頼できる情報多数あり>。米市民多数が真相を認知してる。だが彼らは次が見えない事が懸念材料なのだろう。米国権威が失墜した後の問題で米人には提起できないだろう。米はファシズム言論弾圧支配にもあるからだ。だが即断は禁物、時期政権まで米国内を見守る必要あり。

⑤ブッシュ超犯罪政治暴露はサタン国米に革命をもたらす絶好機会、米外世界市民団結で真相糾弾！、その前提条件は世界市民に「真実」が正しく伝達認知されねばならない。

⑥人類最終的救済は「共存を肯定する」新社会主義になる。同時に神仏の教える道徳の側に戻る事である。新社会主義詳細はまだ未知。多数により、追求せねばならない。

⑦ CIA 米軍の平時の非アングロゲルマン諸国への秘密陰謀軍事：

戦後米は元ナチスをCIAに雇用、南米アフリカアジア政治経済収奪支配で残忍横暴を尽くした<ブルム、米の国家犯罪全書>。そればかりでなく米軍フォートデトリック基地ではあの人工細菌兵器エイズが開発された。アフリカ諸国では今民族滅亡の危機にあるまさに地獄の使者サタンである。預言は的中してるのです。

⑤何故神ともあろうも者が悪魔を創造したか？。神すら回避できない論理である。無あらば有、闇あらば光、善あらば悪も存在せねばならないのが現世創生。無でない宇宙世界に於いて肯定のみ在って、否定なしというのは論理上不可能。仏教般若心経は論理学で、「肯定あらば必ず否定あり」と指摘。それと悪魔なくば人間は神存在にきずかないからだろう。我々は強欲悪質、かつさほど利口でもないからだ。

⑥だとすると”人類サタン闘争”は全人類試練と見なければならぬ<最後の審判！>。

キリスト教核心一つは人間原罪論にある。人間以外の動物は己種族間闘争で争うにしても相手が負けを態度で一度示せば殺す事はないと言う。だが人間だけは違う。人間と猿との間に種がないのは、殺戮したからでないかと言う説が有力。それは明らかにサタン思想に由来する。古代宗教は既に人間性本質を見抜いていたからこそ、啓示された。又その超能力で人類史未来すら予知していたと見られる。それが最後の審判の教えだ。

➡人類未来は決定済みか？は大問題！。科学的に現宇宙史は確率過程の一つの実現＝標本過程に相当するがその実現確率はあの問題の $0 < (1)(b) <$ 。未来は決定してるとも我々次第とも言えるのだが我々は自由意志で将来を決定できると見なければならぬ。

[2]結論:悪魔思想からの解脱。

冒頭にも述べたが現状真相の世界市民認識が先決問題としてある。現代文明は一種の麻薬的(物質)快樂主義にあり、解脱には禁断症状が不可避と言う悪魔性がある。

①「敵を知り、己を知らば百戦たりとも危うからず -孫子-」。

- (a)誰もが温暖化地球天候&資源が現状延長だと危機爆発する可能性を感知、だが経済発展に夢中である。何故ブレーキが利かないか？。皆が赤信号無視で安心する愚。レミング集団が一斉に崖ぶちに走り集団自殺するに類似しててないか？<己>。
- (b)米国指導層はサタン思想、世界に**米国の物質繁栄**を見せ付ける悪魔性で魅了(他方裏でその暴力で脅迫)、世界を麻薬地獄に引き込む。”世界に商工業を推奨すれば各国人民は己利益と贅沢虚栄競争に夢中になり、共同の敵である我等に気づかなく成ろう”<敵>。
- (c)現状世界体制に代替え可能な健全思想とその実現方法が確立されてない。
- (d)健全思想と実現方法を提示しようとする悪魔が妨害弾圧する装置が仕組まれてる<敵>。
- (e)従って敵悪魔の言論妨害、テロ、陰謀を明かし、戦う手段を構築する必要がある。

②代替え可能な健全思想とその実現方法確立。

筆者は以下に一つの叩き台を提示、後に諸氏の研究開発を依頼する。

- (a)サタン思想の逆テーゼ=神の意向として「人は共に生きるべし」。
- (b)人生正解は生産は生きる程度に程々に**遣り過ぎると過剰労働と資源飢渴と争奪**、残る時間を芸能文化等の健全な楽しみに”主眼”に置くと言う南方ラテン系生き方にある。争奪とはサタン思想の戦争でもあり、だから殺生忌避仏教では菜食主義にすらなる。

注:「失敗の本質、防衛大学講師編、ダイヤモンド社」と言う書籍で**過剰適応の不適応**と言う概念が紹介されてる。日本軍は一度ある方法で成功を収めるとその方法延長をひたすら追求、だがその間に時代は推移変化し、不適応が免れずと言う論。日本に限らず、世界も繁栄過去延長を断ち切れずにいると言うのが現実。別名過ぎたるは及ばず

に等しい。とかく日本人は全てに遣り過ぎで失敗、土地バブル、人事差別経営、..

③経済学の方法:

人の生存をまず保障する必要がある。それは経済だが、競争経済から協調計画的な経済運営を推計計算する可能性を与える一つの理論根拠を筆者は提示できる。経済系の帳簿集計をそのまま多元連立方程式でシュミレーションする方法、これはあいまいさが無い。詳細は筆者の**経済回路網力学**を参照<now,nothing English edition>。

④「人は食糧、住居、エネルギーの3点確保で自由になれる三カラスの哲学」。

上記テーゼの正しさは否定命題を考えれば死活問題に成る事から了解されよう。

- (a)食糧自給こそが経済原点である筈だ。最優先の政策項目。無闇に工業生産優先的な発想で農地山林河川沿岸資源を潰しては成らない。戦後日本は逆さサタン政策。
- (b)現代日本勤労者最大負荷が住宅ローンにあるは言を待たない。勤労者奴隷化の装置方法もしこの負荷がないと如何に楽な事か！。公共住宅、方法は幾らでもある筈。
- (c)エネルギー電力。
 - (3)(c)で若干言及した画期的な**縦波電位波発電法**と言う最終解決案あり。筆者業務。近日、その原理証拠をデモ公開予定。実用化にはまだ理解、資金、技術が不足。並行してその他のあらゆるエネルギー資源開発可能性を試行する事が推奨できる。

⇒:カラスさんは餌を確保すれば後は遊ぶそうです。子育ても立派にこなして！。

⑤敵悪魔の言論妨害、テロ、陰謀を明かし、戦う手段を構築する必要がある。

勝利の鍵は小異を捨てて唯一真実を核にした一般市民の大同団結にある。敵を抱えてもこの方法は有力に成る。権力最大弱点は彼らが少数派である事だ。テロ陰謀は我々内部の裏切りに由来する。内部裏切りは我々の団結努力で防止可能なのである。ここでも「敵を知り、己を知らば百戦たりとも危うからず -孫子-」が有効になる。

(a)敵を知る(マスコミ問題と第三の情報流通ルート構築):。

戦後日本の大マスコミは小事ではともかく大事で国民を裏切ってきた。大マスコミ=税金同様の料金強制徴収のNHK,価格談合の読売,朝日,毎日,日経の大新聞,国民の痴ホ化に絶大なパワー発揮のTV巨大腐敗がまず日本を駄目にしてる!。100%馬鹿番組だとばれるので時折、真面目を装う番組を放映と言う陰陰さ。CIA-電通(世界最大広告代理店、社員は日本支配層師弟が多い)が裏管理するマスコミは国民思潮制御マシンである。世間に問題発生の際に説教をぶつ彼らこそ最も堕落腐敗詐欺的である!。平時のCIAはマスコミと思うべし。小出版社等に稀有情報がある時がある。

→山川暁夫;CIA,もう一つの政府,教育社,1978.

新雑誌X;エイズより怖い警察国家-弁護士とマスコミと警察,1987/12.

田原総一郎;電通,朝日新聞、

従って真実真相情報に関しては別途ルートが必要になる。判断の前提が間違いでは始まらない。世の中には必ず稀にしても同じ発見する人が複数いるはずである。一人でない事は重要。情報網を築く事が必要になる。

(b)敵を知る(隠れたテロと脅迫問題):。

日本には天皇批判に伴う右翼テロ、天皇戦争責任発言の長崎本島市長銃撃、中央公論嶋中事件と言う表テロになる事件と自殺事故偽装等で当事者関係者には脅迫示唆の内容になる超陰陰な遣り方がある。警察当局が犯罪事件としないからテロ犯野放し遣りたい放題になる(裏テロ)。では誰が犯人か。例えばあのオーム事件で彼らは自家製造サリンを地下鉄車中に散布したが、実は当日吐血性ソマンも同時散布。これは無視された大謎。保守系議員スキャンダルでは担当責任秘書自殺が頻発、中には到底無理な自殺がある。ベッド背もたれにネクタイで首吊り、いささか無理と言う者である。では真犯人は誰か?。まず訓練された破壊工作殺しプロ、ならば暴力団関係者,右翼思想的自衛隊特殊部隊関係者,更に公然組織左翼を標榜しながら隠れ実働右翼もある事に注意せねばならない。この問題は重大で後に別紙で報告したい(付録3参照)。

(c)己を知る<団結は他人と仲良しになるだけでない、他人に信頼されねばならない>。

誰もが得意不得意を持つ。これを本人他人が把握できれば、まず始まる。相互に弱点得意を補完し合う方法がある。従来、人は弱点を隠す為に虚栄を張った。これが障害に成る事をは初めに忠告。まして現世俗は分裂させて支配せよにまみれてる。

(d)己を磨く方法<他人を理解し、他人に信頼される>。

* 身体を磨く:なんたって身体から始まる。自分に合う鍛錬方法を探してください。

病等ある人は対処法,治療等情報探索を研究,病は試練になります！.

* 精神を磨く:これも自分にあった方法を探す。目的は自信と他人信頼を築く事。

* 他人を理解する方法 :一度この問題を意識するだけでも大きい。

人を認識し見出す事は金儲けに匹敵する宝探した。

* 他人に理解させる方法:一度この問題を意識するだけでも大きい。

人を説得できる事は金儲けに匹敵する。

* 道楽趣味,技能,科学芸術文学、その他ともかく何でも自分の専門得意を持ち,磨く。

人に喜ばれる、頼られる立場になる。

(f)知(intelligence), 行(executability),徳(moral):

* 知(intelligence):

以上経過で諸氏は既成体制が根源で真理真実真相を隠蔽してる事実を把握しただろう、人の行動はその前に知的判断が必ず先行する。したがって知力=intelligence は結果を左右する。人は大方家庭と学校教育、職業現場、社会経験で知力を養成する物だが、既成体制は「民は頼らしむべし、知らしめるべからず」なのである。20年前の書店は結構、信頼出来る物があつた。だが今は塵がやたら多く、本物を探すの難しい。ネットも同様に塵が8割、探すのが難しい。だが本気で探せば見つかる者、物である。

* 行(executability):

ここで実行力とみなす。それは決断力に相当する。決断は不確定な情報下での行動判断だから利得、リスク、確率の3者を総合判断せねばならない。ギャンブル,投機,釣り好き,運動好きな人は利得傾向を重視, 書齋派は無難を選ぶ。前者を go, go の人、後者を stop の人と言う。書齋派,ギャンブル派を同時に持てるのが理想。

* 徳(moral):

人は完成を追及すべきだが、東西の思想宗教の目指す徳目を以下の漢字で表示。中国思想では仁、儀、礼、智、信、西欧では思慮、英知、正義、忍耐、勇氣、節制、キリスト教は信仰、希望、愛、仏教には以上以外に寛容。

⑥指導者になる。指導者を育てる。

筆者人生に残り時間は少ないだろう。本文は遺書に出来る積りであつたが？。筆者希望は本文了解者が後の指導者になってもらえる事。だから精一杯有用情報を盛り込んだが。過去に指導者論を書いたが、パソコンファイルには無いので引用が出来ない。

⑦後書き:極めれば真実究極は単純です。'07/6/25,29日。

時事問題解析工房;B波電力工房 代表 鈴木基司。

〒239-0813 神奈川県横須賀市鴨居 1-2-5.

tel 0468-843-2271 mail 住所:motoji-suzuki@key.ocn.ne.jp.

一付録1:心理戦<脅されない、騙されない=欲で釣られない>一

①脅されない:

①臆病は例えば「負けられないと言う思いが強いのに、勝つ自信が無い」、即ち能力が伴わないのに欲だけが強い場合に起こる。能力自信をつける、欲を消す事になる。だから負けを覚悟して、かつ全力で闘う時が最強。”捨てる境地”と言う。

②”捨てる境地”は欲囚われ境地の子供には最も難しい。だから悟った大人の作法。秘密結社フリメーソン入社儀式は一度死を擬似経験、そこからの再生に深い深い意味がある

ドイツ光輝結社に由来する米国エール大学同窓の秘密結社スカルボンズの入社儀式は人間の骸骨を前にして、人は死ねば只の骨、ならば生きてる間に遣りたい放題と言う趣旨の歌を歌うそうだ。死を受け入れるは人間最終境地、ここから世界を戦乱に巻き込んでも平気の無法放埒が生まれるのだろう。危険な思想に間違いないが参考までに。

③反撃が無いと判らずと敵は凶に乗って後に何度も繰り返す最悪になる。但し勝てない相手からは早急に引くが正解。但し但し”勝てない”と言う判断が正しい場合に限る。

④脅されると鬱か怒りになる。鬱に成ると自信喪失不安が増大する。敵はそれを利用。

⑤脅しは相手が臆病と思うからこそ発生、対処の鍵は①②。激しい怒が無ければ敵は倒せない

⑥相手事情が知れた脅しには事前にシュミレーションで対応を用意しておけば容易になる。あらゆる事に通用する事だが事前想定の実験法を演習獲得しておけば慌てないですむ。

⑦実践体験多数の経験者にすぐる者なし(類型パターンと対応法が直ぐ浮かぶから)。だが絶対不敗などは有り得ない事、だから落ちてても良い覚悟人生を日常でこなし、悔いなしに生きる

②騙されない=欲(金と物,異性,地位,庇護,名誉,恨み嫉妬感情,...)で釣られない:

①常識を逆転されると人は簡単大規模に騙されてしまう<悪魔の技術、資料有>。

②人は常にある達成願望を携えて行動する、だから相手にそれを見過ごされて、誘導罠にはめられる。利得、利殖と言う欲で詐欺、陰謀に会うと言うのが典型。

③資本主義競争高度経済成長は人類史過去に例を見ない人の欲望肥大化を実現。その成功こそが今度は手段目的逆転で過激ビジネスを形成、人を苦しめる<だが過半数は偽満足>。

④高度技術化は知識習得が一層困難化し、悪知恵者には大規模詐欺に有利に働く。だから相応の知力を備えねば、勝負にならない相手が居る。

⑤大勢が遣っているからと言う事で無批判に便乗しない。日本の失敗典型。前戦争敗戦、土地バブル、当時は財テクやらざれば人にあらずの風潮だった。

⑥米国はエリート、底辺共に詐欺は最も効率の良い商売と言う風潮がある。

⑦権威、人気者に騙されない。芸能スポーツ人が政界進出は愚民政治化を呼ぶ。

人を当てにするから騙される、論理で測れば騙されない(自己責任の誤りは起こるが)。

③補足:

卑小者は他人を信頼しない。権力を持つと己利益だけを図り、他者を省みない。

人間とはある意味で良く出来てる者で、己利益だけと言うと弱くなる。潜在意識が己の卑小さを知るからだろう。だが一度大局利益の意識に立つと強くなれる。

失敗を何度でも重ねる事が出来るのが勝利の必須条件。土台失敗挫折を知らずで、悟りもありえない。

一付録2:京都議定書様式国際協調と(世界)産業就業構造の転換一

致命的現状世界サタン経済体制に代替え可能な経済模型と就業構造を議論する。経済成長が殊更に重視される理由を諸氏は知るか？。理由は成長停止だと彼ら権力源泉としての金融が破綻する自転車操業だから。経済成長は投資＝負債先導で可能になる<負債＋債権＝0サム定理>。贅沢華美見本を米国でまずデモし、それを世界に見せびらかす事で世界を巻き込むと言う手はずだが無限経済成長などあり得まい。それは米支配層ですら百も承知、なぜか、且一杯の経済成長を世界に拡大し、世界破綻と支配者サタンの世界制覇を急ぐからだ。皆は大規模に乗せられ騙されてるのだ！。故にサタン打倒と代替え世界が必要。

①経済回路網の方法と需給予測経済の可能性。

経済系はその中にある経済主体帳簿総数総計で表現できる。経済は帳簿に表示される。帳簿では入金＝出金が厳密に成立し、それは同時に取引商品量も一対になる。この通貨の流れは経済回路網を形成する<電気回路と類似>。この状況を忠実に連立方程式表現ができる。それは時間一階の微分方程式で経済動態を力学類似で表現する。帳簿は経済体制に無関係に成立する事に留意。理想的な話として全帳簿コンピューターをネット接続して中央に集計計算機を設置する事で短期経済予測が見える<経済変数の微分係数を常時算出>。更に長期需要供給模型＝計画経済を算術できる。

②京都議定書の持つ深い可能性の意味。

さて地球天候異変被害を防止する京都議定書は世界のエネルギー需要協定でもある。それは共に生きるの思想に沿う。将来これは食糧、工業資源、しいては世界規模商品生産協定にも発展できる可能性を潜在させてる。即ち世界規模の計画経済である。

→サタン政権米国は京都議定書不参加、彼らがこの思想に乗るわけが無い！。

(07/9/29 報道補足)Bush はワシントンで温暖化問題検討を公表。

③上記①②を合体すれば世界経済共同体が可能になる。問題は①には詳細表現技術の克服が残されてる。原理は上記の通り。②こそが思想と政治に於いて決断されるべきである。だから各国民に課される義務は世界協調路線を認める国内政権を選挙で樹立する事になる。だから①②の思想を世界に広域宣伝する事が必要になる。

④過当競争が緩和されると言う事は、就業環境も改善する方向に動く事になる。生活に必要な物だけを生産し、資源と労働時間短縮の同時獲得になる。かように遣り次第で簡単に世界は救済される。

⑦世界ラテン化計画。

世界市民は経済不平等を克服した後に、芸能文化等にいそしむ平和世界を構築できる。

⑤現米国国内情勢と世界。

筆者は米国内に深刻な現実を認識、革命へ言論政治行動する人多数が居る事も承知する。実際彼らからの情報で世界認識が可能になった。特に9/11 テロ真相を知る人は多いだが大マスコミ、軍警察 CIA、FBI 等の体制弾圧もある。彼ら将来動向は世界を決定づける。

⑥今日本政治に要求される事。

就業者は多少の所得があっても時間所有を許されない、非正規就業者・失業者は生活資金すら危ういと言う両構造は己で手一杯、当てにならない政治どころの暇でなからう。だがこれを克服できるのは連帯団結政治力以外に不可能である事も認めねばならない。経済就業問題が日本国内事情のみで解決不可能な事も念頭に置かねばならない。総生産から得る所得分配と課税制度に関しては政治力で改善可能性がある。全部政治力で決まる！。個人力であがいても無駄だと言う事だ。この時、米対日姿勢が鍵になる。

一付録3:戦後日本エリートとは日本(国民)を裏切る事で米国から身分庇護される一
『<<天皇世襲財閥、世襲政治家、高級官僚+司法軍警察、マスコミ教育>>』04/5/25

注:本文は04/5/25版の07/6/29改訂版。数字データ以外は同趣旨。

諸氏は戦後日本が自民一党独裁である事を知るか?。法制度上は見事な民主国家、だが実態は事実上一党独裁!。煩雑な首班の顔をひっかえとつかえで誰もが独裁政治を意識できない先進国では政権交代なき稀有な国=日本!。では何故一党独裁が必要なのか?
=戦勝占領で勝ち得た日本を軍事政治経済補完国(植民地)とする米国政策にある!。

謎を解く鍵は「常識の逆転」。素人は常識観念で固まっており、逆さにされると嘘を見破る事ができない。CIA最長長官アレンダレスの言葉を借りれば「全て事物が逆さまになる諜報世界」となる。

[0]:そもそも明治維新天皇制は王制英国帝国主義の陰謀画策だった!

日米開戦は敗戦承知で天皇が決断した!!。

(1)王制復古明治維新は王制英国の陰謀、共和制仏は幕府支援だったが敗北。

明治維新とは長州薩摩土佐肥後の下級藩士による徳川独裁打倒と王制復古の自主民族革命と言うのが文部省選定教科書の論。だが市販歴史書をチョイと調べれば判る事だが尊皇攘夷=外国勢力排除強行姿勢にあった長州藩は1864年の外国船砲撃への報復となる下関戦争で英米に敗戦占領されてる。薩摩も同様に薩英戦争(1863)で敗戦して占領された。所が一度負けると新英国化し、結果的に幕府打倒と王制復古で中核となって来る。英国人グラバーに感化された土佐藩坂本竜馬、中岡慎太郎等の仲介で有名な薩摩長州同盟が成立し、倒幕一大勢力になった事は皆知る通り。地方藩長州薩摩が幕府に勝てた理由は色々だが一つは英国が裏支援したグラバー等の密貿易での軍事支援が決定的である。1865年米国内北戦争終結で安値の銃を日本に横流しで一儲けしたと言う。彼の有名な言葉に「幕府最大の謀反人は自分」と言うのが明治維新本質でもあろう。そして英国留学組の伊藤博文、井上馨等が明治維新の重鎮になった事も知られてる。因みに幕府側に着いたのは共和制樹立の仏で、彼らは北海道五稜郭の戦いまで付き合い、敗北してる。現代日本に於いてすら政界での長州閥は根よい事強い事が有名。当時ビクトリア朝(1837~1901)英国は世界に植民地を築く世界帝国で、当時欧米は近代化にあり、王制は民主化の壁だったから逆革命としての欧州王朝(没落防止貴族同盟=freemason)が大活躍にあったと推測される。

(2)日米戦争の開戦理由真相=「敗戦よりも(国内)革命が恐ろしい/近衛文麿」。

中国侵略戦争を仕掛けた日本軍部は米国からの軍事物資(鉄、石油)禁輸で苦境だった。更に中国撤退を迫る米国ハルノートが勧告される。当時陸軍部は秋丸機関にて日米戦の戦争経済simulationを経済学者有沢広臣に依頼。結果は初戦優勢、後半劣勢=敗戦を予測。米国留学経験もある山本海軍大将等も初年は活躍できるが後には責任が持てないの趣旨発言をしたと言う。当時米国の生産力実物を目にしている以上は当然の見解だろう。戦争現場を知る軍人は決して負ける戦争を望まない。ではなぜ日本は日米戦を決断したか。それが冒頭テーマである。因みに赤間剛氏の神々の陰謀(副題=三島由紀夫の死と天皇制の謎/内容は欧米支配層秘密結社メソン実態/によれば高位の陰謀集団メンバー間での戦争では相互に戦争責任を問わない密約あるのだと示唆(p152)。戦犯死刑になる様な東条英機が真の開戦指導責任者と考え事は難しい。進駐軍マッカーサーこそが実は戦後日本をネジ曲げてしまう。戦犯天皇を日本支配の最高の道具にした(1条)、朝鮮戦争では軍備開始で9条をネジ曲げ、その結果は司法秩序のなし崩し破綻日本を演出する事に至る。法曹関係者ですらこの巨大論理破壊を理解しない人が多いのだ。

[1]GHQ占領下人脈(日本裏支配 CIA 代理人発端と現代日本支配構造の原点)。

真珠湾奇襲で戦争を仕掛け,多大犠牲者の敗戦占領で軍国全体主義体制から解放され,後に「民主主義,平和と経済繁栄」を只で貰ったなどという甘い歴史が地上に何時あったか。

(1)進駐軍は日本エリートを戦争責任で締め上げ,代償の対米秘密協力を要求(戦後日本真相)。

アングロサクソン米は実用主義の国、利用可能なら天皇から犯罪者乞食まで何でも利用。米には西部開拓,ハワイ,そして日本,中国と言う基本的な長い東進政策がある。日本敗戦は彼らにして見れば,アジアに一大拠点を得たのであり,領土の次は人の支配となる。当然ながら旧日本エリート=天皇家,財閥華族,軍人警察,官僚,経済人,言論人,右翼等のめぼしい所が進駐軍に囚われ,巣鴨プリズンに收容され,恐怖洗脳される。参謀本部関係軍人,スパイの中野学校,細菌戦一石井部隊,右翼指導者,海外引揚者,戦時収監思想犯=共産党&宗教指導者、高級官僚,特高警察内務官僚,経済指導者達はGHQ米軍の協力者に仕立てあげられる(占領下人脈)。彼らが基礎になり戦後日本のCIA網が形成される。その平時中核は情報機関に相応しく実はマスコミ宣伝機関=NHK,民放,新聞,週間月間雑誌,一般出版,芸能スポーツ界であり,実働部隊として政界官僚関係,警察自衛隊,右翼,医学会,宗教政治等各種団体,地域団体等に広域にまずは反共思想の下で秘密網が形成されたと見られる。筆者観測では、

- ①米日上層部(CIA)統一意思の下に実時間で動くマスコミ宣伝機関の表現検閲を統一する秘密統括部がある。米大統領就任式にも呼ばれると言う電通と警察権力は絡む。オーム後はやたら犯罪報道が時間を占める。自殺報道増加で自殺が増える法則があるそうだが、筆者は犯罪報道が無意識に犯罪を誘発、かつ社会の不安鬱化臆病化を促進と見る。中には健康不安扇動番組すらある。無知も危険だが過度の神経質は逆に病を誘発する。
- ②芸能スポーツ等,醜聞と事件,その他を通じて長期間を掛けて育成浸透させる事で国民思想を無意識に支配する<不況と競争選別化容認、虚栄退廃貧困同居不感症等>。
→:金銭物と外形美崇拜(ビジュアル系)=[背景にある事への考察思考停止]=愚民化政策, :労働動機づけとしての外形美住宅獲得,虚栄競争,人並み主義扇動→高額品購買,子弟教育投資,個人的欲求没で社会問題への能動的態度,社会連帯意識の喪失=愚民化政策と並ぶ「分裂させて支配せよ」の植民地化政策。
- ③宗教政治思想等団体に意識無意識の代理人を送り込み、組織員意識の制御統一化と活動の裏支配で政治利用。
- ④米国利害に絡む人物団体等を監視,必要な場合は陰謀,実力行使で抑圧を計る(秘密テロ実働協力者)。
- ⑤企業大学研究機関等の研究一般と優秀研究者&言論人等への検閲,抱き込み,抑圧,情報盗用、要するに「米国利害に絡む事を監視し,日本国民愚民かと(政治的)能力弱体化を計り,支配の円滑容易化を計る」。
- ⑥かように国民内部には非常に残念な事に己利益のみの為に(あるいは日本人多数派の為と言う口実で騙して)実質結果は日本人を裏切る勢力がある。国民は以上現実を真正面から受け止め、真実を核に団結して闘う姿勢が必要。

[2]:小金持ち奴隷＝日本国民とエリート裏切り事例集。

日本人 6000 万が年間稼ぐ GDP は 500 兆円台になる。国家予算 80 兆だから $1/6 \times \text{GDP}$ の巨額が政権党手中に収まる。トヨタ 1 兆円は最近の話だが稼ぐに膨大な苦労がある事か。だが塩川財務大臣地元リソナの 1 兆円補填は政治決済一発だ。だから政権甘みを知る亡者どもが政権維持の為に陰謀を策す理由が判ろうと言う物。ならば政治団結さえすれば政権奪取 = $1/6 \times \text{GDP}$ 奪取になる国民野党が無いと言う事は如何に国民が愚かの象徴だ。

- (1) 現野党政治家である事は単に名誉、高額歳費職業に過ぎないと言う戦後 60 年の裏切り。
- (2) 日米安全保障と言う巨大な嘘、米軍基地撤廃は島国日本(自然国境)にとてつもない平和と一県分の土地が入る。更にサタン軍需産業支出も無くセル。国民総反対 60 年安保承認で悪名高い岸首相は例の巣鴨プリズン洗脳卒業生、結局この路線が現状日本を決定。小泉政権後、北朝鮮軍事脅威と言う事でやたら騒ぐ。名がテポドンだから日本人向きで真相無知の国民はその気になりかねない。寧ろ国内基地から北朝鮮爆撃機が飛び立つとなれば標的化する。ブッシュ政権とは親父は CIA、選挙参謀は軍需産業、その証拠に政権発足まじかで何と 30 兆円口社の戦闘機発注の大判振舞。小泉は父親防衛長官、軍需派で有事法制福田の元秘書上がり政治家 3 世とはブッシュと双子。9/11 で悪名はせたビンラデン一族とブッシュ一族は共に軍需産業投資会社カーライルの共同出資者、何とトムとジェリが仲良く喧嘩で軍需産業を太らせ儲ける所業。この結果、アフガン、イラク市民多数が無残な戦火と侵略の悲劇。拉致者と引き換えに金独裁政権延命支援は軍需産業にとり、敵の存在ほど有難い者がないからだ。
- (3) 戦後自民政治行政は将来の日本人生活基盤＝資源経済(農林水産業エネルギー産業等)放棄の上に成り立つの超裏切り。確かに米だけは農村票田と引き換えの過保護農政だったがそれも今では厳しい。先進国では珍しい穀物低自給率化。出来る農産物は見た目立派だが過剰農薬使用で危険が指摘されてる。見た目は立派で中身は薬殺政策なのだ。米国の推奨する工業優先の下に稀有な資源豊富沿岸多数を破壊し、デタラメな宅地政策はひたすら山林田畑潰し。更に小島、山間地への産業廃棄物大量投棄で資源基礎の土地沿岸破壊が止まらないのである。最も危うい一つは核廃棄物に困って他国では絶対遣らない人類最強毒のプルサーマル再燃料化サイクル。微量でも列島半分が地獄になるとされる。昨年東電原発多数が亀裂問題で発電停止だった。最高度技術管理でもこの事態。化石燃料問題の京都議定書に従う CO₂ 削減量が達成できない状況で国民にも問題がある。
- (4) 国民金融資産総額 1400 兆円＝公債 800 兆＋金融機関 500 兆＋海外債権 100 兆と言われる。是は通貨資産総額＝負債総額の 0 サム定理の中身、真の不良債権処理は債権放棄になる。金融機関への公金補填とは債務を単に国の帳簿に書き換えるだけ。最終問題は返済見込み無い膨大累積国債で財政破綻⇒行政と国民生活破綻となる(07 夕張市)問題の年金だが業務上背任で巨額穴ヲ開けてる事例も断たない。手続き一つの手違いで定年後家無しではたまらないが、国家財政は当局も国民側双方もシチャカメチャカの統合能力崩壊状態。
⇒: 憲法 25 条は重い条文で「国家政治は国民の生存権保障を負ってる」。家無しは違法。
- (5) 日本人年間自殺者総数 3 万人台！。並みの局地戦争でもこの数に達しない物凄い事だ。だが誰も騒がない。半数が病苦、半数が経営破綻、失業苦の経済原因。だが国もマスコミも知らぬ振り。現在景気回復にあると言えど若年高齢者共に一度失業すると求職は厳しい。就業年齢制限は一度その立場になれば求職者に絶望感を与える。入社面談を何回も反復失敗すると怒りがこみ上げる。鬱になる人もいる。普段目にする日本人は温厚な人々だが、一度落ちこぼれた人からすれば救済無き残忍無慈悲な絶望超冷淡国家なのだ。

だから今の日本国家は国民のためにあるのではない！。阪神大震災では生産基盤には金を出したが人の生活には出さなかった。

☞牛鶏肉ウイルスでは必要以上の危機扇動。自殺自動車事故死者数からすればお笑い。

(6)「成長過程の自由主義経済体制」優位には否定しがたい魅力がある。この間まで貧乏国家が10~20年で一気変貌可能だからだ。だが如何なる物にも終焉(成長完成)がある。生活基盤物資国内市場一巡であり、残るは成長期の数割程度の消耗需要だから経済は一気に落ち込む。先進欧州,米国,日本も例外に無く慢性化失業率のみが残る。稀にITの如く新顔で一時回復等があるが、先進国なればこそ長い長い究極は難しい。日本ではその結果過当競争が激化、会社勤務は過去に無い締め付けになり、首は繋がっても昔の面白さと余裕が消えた。そこで馬鹿な指導者はビジネス効率向上を訴えるが、皆が同じ努力をすればまさに蟻地獄化(最後に再論)。

(7)小金持ち日本人は子弟教育に高額投資する様になったが現状延長では毒になるだけだろう。成長期は先進国技術導入(教科書的消化能力)が重要だったが、これからは教科書にない新規創造だけが価値を持つ。その場合は回答能力よりも「問題発見能力こそが物を言うのである！」。この逆転性を抜きに真の教育を言うは愚。又問題発見能力は自由性に依拠する。ファシズム組織志向とは型に合わせろで寧ろ問題発見は抑圧にあるからだ。例えば筆者本文自体が問題発見告発であり、守旧体制＝奴隷頭は決して喜ばないのだ。

(8)良き生活とは悪矛盾不合理の問題事実を遠慮抜きで発見告発し、打開改善で進歩する。

だが問題には局所的な部品交換改良で済まされる内容と、全体システム原理その物に由来する2種がある。一企業のビジネス効率向上は部品交換だが、社会全体が部品交換で安定化するとは見られず、寧ろ逆悪化。確かに全体システム原理その物を革命する事は容易でないが、それしかない時代である事を認めざろう得ない。今後はこのシステム原理に挑戦する認識と姿勢が国家国民に無いと永久に日本は米国の奴隷植民地で終わる事になる。

(9)基礎全体原理をまず定め、それから局所設計と言うのが正しい手順、現代経済政治社会はそれが逆転し、目先から問題を発想するから、最後に全体矛盾に出会い、破綻が起こる。

日本が敗北するとすれば、この重大作業を他人任せにした場合であろう。だから

(10)記憶猿真似学習は自滅、自分も他人も基礎原点から完全納得させ得る事だけを信用する。故にあらゆる基礎原点の再検証徹底作業を推奨！！。

-(9)(10)は07/6/29日の補足-。

*参考書:<本文参考文献目録に重複する物がある=#>

#山川暁夫、CIA、教育社、1978.

菅原出、ブッシュ王朝の放蕩息子、文芸春秋'02/10月号。

A ダレス、諜報の技術、鹿島研究所出版会、

大野達三、アメリカから来たスパイたち、新規日本出版、

一付録4:本論中で漏れた事項の補足一。

①<般若心経。参考書、遠藤誠、般若心経、現代書館、1984>

* 観自在菩薩照見五温皆空度一切苦厄(冒頭文)。

=修行者は五温(色=目に写る物質世界,受=感覚,想=心に想う事,行=意思,識=知識)は皆全て空である事を悟る事で一切苦悩を制御した。空とは以下の通り。

無=+A(肯定命題)-A(否定命題)。~悩み無きも道理なれば、悩むもこれまた道理、だからこの経からは何も得られないと言うと同時にこれ以上の経は無いとも述べる。

注:自立訓練法熟達で歯科治療の痛みを感じるが”苦痛でない”状況が作れたと言う。

* 遠離一切顛倒夢想究竟涅槃(中盤結論)。

=「一切の”逆さま”な欲望夢想(の世俗)を拒絶し(出家して)、悟りの境地を極める」。

だから現世世俗は逆さまサタン支配世界に対応。

* (最終文原語)gate gate paragate parasamagate bodhi svaha.

=真如世界(来世)に行ける者,真如世界から(現世に)来る者,(=来世現世を往来する者)に幸あれ。来世は何でも可能の神仏世界。だから往来する者とは超能力覚醒者。

②妙法蓮華経 方便品第二。<鈴木永城,お経の意味がやさしく判る本,河出書房,2001>

* 不須復説。所以者何。仏所成就。(中盤結論)。

=舍利仏よ。もうこの事を説く事はやめよう。なぜかと言えば、仏が成し遂げた悟りの境地は最も類稀で、理解しがたい法だからである。

* 如是本末究竟等(最終文)。

=始めから終わりまで事柄が係わり合い、等しく結ばれている<平等性>。

筆者補足:判らない事は全て等しく扱う。統計学の**不偏推定**に対応。般若心経が可知論であるに対して、妙法蓮華経は不可知論に対応。両社合算で超完全。

③W(バランス)感覚<偏狭と寛大,弱点と長所,苦と楽,自と他……>.

よく振り返れば世の仕事とはAを選ぶか,Aでないを選ぶか肯定否定の論理判断だけだ。

一度Aを選択、旨く行くと人はA一つだけと思いがちになる。だからAだけ追求するが

その間に時代環境は刻々変化している<過剰適応の不適応([2]②(b)注)>。般若心経も

肯定否定双方を悟れと指摘する。人は自分に都合良い方だけ見がちの罫に落ち易い。

個人技と集団技,偏狭と寛大,和風と洋風,緊張と緩和,専門家と一般家,……。人は簡単には完全には成れない。だからこそ肯定否定の**全部**を勘案せよと言う事だ!。身体には緊張を

支配する交感神経と緩和を支配する副交感神経が存在し、その両者の交互バランスで旨く

動作すると言う。もしこの平衡が崩れると故障になる。

一付録5: 団結防衛＝組織分断の方法一。

団結達成には組織防衛の意識と敵の分断技術を組織員の全てが熟知する事が望まれる。筆者の実体験、報道等、文献から入手できた情報を以下に要約的に記述。

① 競合ゲームの原理:

世の中には健全な囲碁将棋、麻雀、野球サッカーの様に競合相手が明確になる場合から、不特定多数競合相手を抱えての不特定客を獲得する競争商売の様な競合ゲームがある。ジャンケンを想定すれば判る様に、**競合ゲームの必勝戦略は相手戦略の裏をかく事といわれる。**相手戦略戦術が完全に読めれば必勝戦略を立てる事が可能になる。全く読めないとあらゆる可能性に対処せねばならないから困難になる事が判る。勝敗とは手持ちの戦術 $\{F_0, F_1, F_2, F_3, F_4, \dots\}$ と敵戦術 $\{E_0, E_1, E_2, E_3, E_4, \dots\}$ の組み合わせ衝突 $= F \times E$ で決定する。**先ずは敵の選択する戦術、可能性(確率)を知りたいものである。**だから孫子は言う。「敵を知り、味方を知れば、百戦も危うからず！」。

② 民主主義は多数決(数の原理)でもあるから、団結分断こそは最大危機！。

(1) **団結促進要因**は参加者の判断自由意思に由来する。利得大なれば参加、リスク大なれば不参加の判断が働く。従って参加目的が明確で信頼できる要因を筆頭に指摘できる。

→「少数告発者に始まる真理真実の広域宣伝を核にする大同団結」。

(2) だから敵は常時、真理真実を偽装、もしくは隠蔽する。だましである。

真理真実を偽装隠蔽する為に告発者、指導者人格攻撃で問題をすり替える事が起こる。

指導者信頼が失墜すると組織破綻する事はよく起こる事である。

→「組織目的とその動作原理に誤りがなければ、指導者交代で問題解消の場合もある」。

→「指導者は敵の標的に常にある事を念頭に組織防衛せねばならない」。

(3) **CIA 常套手段は敵少数を選び、罍を掛け、信用失墜を図る陰謀を得意とする！。**

情報攪乱としてデマ、嘘を巧妙に組織とその周辺にばら撒き、失墜を意図する。

より進んだ手段として標的周辺情報を徹底探索して弱点を洗い、罍を陰謀し、役者と舞台

に相手を引き込み、罍に落とし込み、醜聞と犯罪等の罍に仕掛け、信用失墜を謀る。

生身の人である以上、常に精神的肉体的経済的な弱点は誰も逃れがたい。故に心理戦、

生理的作用物質、経済状況、就業環境条件等その他で人を制約し、弱点を形成できる。

だから指導者は健康、財産金銭、異性関係、就業上の利害関係等に注意せねばならない。周囲に組織防衛の**専門護衛職**を置くことが最善と見られる。

(4) **組織仲間の間に不和を誘導し、組織分裂を謀る。**

指導者も含めて、組織参加員間に問題が起こるだけで組織破断もありえる。

指導者同様に一般組織員も生身の体と感情を持つ以上は上記(3)の問題があり得る。

(5) 政治運動では常に問題になるのが利害対立と路線対立。

これには技術的に克服可能である。

* 路線対立では徹底して真理真実追究研究と学習の姿勢で論理解決可能。

* 組織内の地位問題では民主主義原理(実力成果評価の判断基準を事前用意の人事管理)、評価公正に不満が起こらない人事システムを事前に賛同を得ておく。

* 利害対立にしても将来にあり得るトラブル対処に関する処方を事前に賛同で用意。

先手で問題多数を先取りし、予防するのが最善手段。相応のチーム専門職を用意する。

(6)個性を許す自由な集団でなければ創造性が保障できない。他方個性ある人が多数集まれば衝突があり得るのも自然。だから事前にその要因を自他共に感知し、緩和の手段の為に人間的会話が成立する環境を常時用意する。それは次の問題解決にも役立つ。

(7)敵は必ず内部にスパイを送る。それは実力評価だから光栄と思うべし。

仲間を無闇に疑う事は団結を壊す。だがスパイ摘発がなければ仲間と組織を救えない。CIAは分裂策動の専門家集団、だが彼らは組織マニュアル通りにやる。何故かと言えばスパイ人格者には自主判断を任せられないからだ。それ故に敵のパタンを一度知ってしまえば怖い者なしだ。

(8)敵は常に心理戦で揺さぶりを掛けるから、付録(1)問題を修練されたし。

(9)勝利可能の確固根拠あらばこそ団結できたし、団結できる。原点確認をお忘れなく！。

(10)敵は無知人格不全腐敗者が非常に多い。敵を笑い飛ばせ！。

その実例集：

①戦後最大CIA内閣＝腐敗マスコミ上に作られただまし人気便乗で痛みに耐えて日本を米国に売り飛ばし政治の小泉首相はな何と強姦前科2犯、一度目は防衛長官の親父がもみ消し、ほとぼりが冷めるまでロンドン大留学、二度目は飯島秘書がもみ消し。ネット上でも暴露されてる<藤原肇,小泉純一郎と日本の病理,光文社,2005>。

②小泉酷似がブッシュ、学業不振だが親取り計らいで米国の東大といわれるエール大入学だが劣等生、実業界でもウダツが上がらず、遂にアル中、苦境を救済洗脳したのが宗教、家仕来りで政界進出、ゴアに選挙ごまかしで大統領当選、彼の政治は全て参謀が演出。問題となるのが軍CIA演出の9/11偽装テロ、馬鹿人格不全だから勤まると言う次第。

* CIA 定石：腐敗的要素を持つ人物を権力に置き、周囲に参謀を付け、操り人形にする。(倉前盛道、悪の論理、日本工業新聞社)

* 富裕層子弟特徴は高慢で下に冷淡、奴隷頭に最適と言う次第。

③英国皇室とダイアナ妃自動車事故死ほど疑惑をもたれてる事件も珍しい。元はと言えばチャールズ皇太子が元恋人との三角関係が断ち切れず起きた事件ともいえるが、本質的にはダイアナ妃がエジプト人恋人との間に子供ができた問題で、白人至上主義の英国皇室がタ食人種と縁戚になる事を忌避した結果と言う説が有力、だから謀殺。因みにブッシュと英国皇室は縁戚関係、即ち国際右翼頂点に立つサタンこそ彼らなのだ。

④国内でCIA直結と言われるのが公安政治警察と少数大マスコミ、その頂点にあるのが世界最大の広告代理店電通(新聞雑誌と民放は広告で成立)、社員には日本支配層子弟が選ばれると言う。その入社論文試験題目例が建前と本音。成績優秀者を落とすに苦労すると言う(田原総一郎、電通)。マスコミ支配で無意識での日本人思潮を支配。

⑤経済成長後の日本政治社会思潮に大変化をもたらしたのが謎多きオーム事件。立花隆氏(週間文春連載)に寄れば、オーム教団には公安警察蜜偵が長期潜伏監視にあったと言う。だからあの霞ヶ関サリン事件は事前に警察周知の下で成された。では何故か。バートラムグロス著作のフレンドリーファシズムに寄れば「自ら危機を演出し、それを好機に変える」と言う陰謀技術が米国ビジネススクールで教育されると言う(9/11も類似)。時はバブル崩壊後不況最中、政治不安化が避けがたい時期にあり、権力は当然ながら国民が政治集団化するを恐れた。だから(政治)警察力強化の口実を何よりも欲した。実際オーム後は前代未聞のモラル破壊、以後異常犯罪も量質で増大、彼ら目論見通りになった。国松警視庁長官の尻を見事に銃撃、一命を得るが彼が病院を出るビデオを見るとよい。

⑥日本(官僚警察)支配の東大法学部 OBこそは無法日本演出にCIA加担一大勢力。

一付録6:いかに問題を解くか一。

問題発見から解決に至る過程を考察する<興味ある方はこの問題をソフト化して下さい>。

①問題発見の創造価値重大性(frustration(不満)位相):

先決問題として問題所在に気づかねば事は始まらない。その動機は frustration(不満)にこそある!。生きるに置いて必要な忍耐我慢は確かにある。だが必要な不満も重大だ。日本教育に於ける最大欠陥はこの重大問題を無視する点だ。理由は簡明、奴隷には忍従が必要であり、上から与えられる仕事の解決だけが要求されるからだ。自由とは壁がない事。奴隷の逆の自由人とは壁を嫌う存在だからこそ問題発見者になれる。だから問題発見者は自由人、アウトロー的、贅沢人、変わり者、例外人等々でなければならない。自由人は己意思で行動決定し、責任を負うのだから問題一切が己に掛かる。常識人とは現状肯定の不満のない人、「問題なし!」の人なのである。

権威、常識追従の奴隷、我慢、忍耐、猿真似、臆病に革命と発見発明は無縁なり!。
些細な不整合が大きな問題を埋めてる場合がある!。
出来上がったと思うな!。

☞: 個人的感情、嫉妬怨念、地位と誇り等が問題を無視させる過ちになる場合がある。

②問題解決の位相<hot(あの手、この手)と cool(筋道と論理)の使い分け>:

問題解決に一定方式がある訳ならば誰も苦労がないだが筆者経験では次の2法がある。例として将棋囲碁のあの組み立て緊張思考と野原で寝そべり自由空想の2法である。筋道を探索する論理解析的な cool 手法 L、逆の虫の触覚が四方八方とランダムに触手を当てて探す揺動的な hot 手法 R。まずは簡単容易な例を多数経験する事が重要だ。

- ①まず既成情報に類似問題解決例がないかを検索する<学習位相>。
- ②問題を簡単に解ける形(要求、条件等を軽減)に変えられないか?
本質を類似にする別問題に書き換えできないか?。
- ③類似性、相反性、対称性、筋、論理構造等を見極め、問題の筋を丁寧を追う。
- ④上下順逆縦横に見ろ!、押し、引き逆行、切り換えし、居直り、逆転、ヒントを探す
- ⑤誤解、偏見、先入観、捉われ、過去の成功に拘束されてないか?。
- ⑥揺動戦法=可能性ありと思う素案をまず批判抜きで大量算出、後にフルイに掛ける。
揺動法は意外性をここでは期待してる。どれだけ乱雑自由に発想するかに鍵がある。
直感を働かせる!、見逃してる好機がないか?。固執してないか?。
→日常生活で常に昨日と違う事を遣る訓練をする<固執性からの脱却法>。
- ⑦論理(集中)と揺動(発散)を交互発動する。
- ⑧個人で遣る場合は酒醸造類似で問題を頭に仕込み、無意識での醸造発酵を辛抱強く待つ。
この時、問題解決の強烈な願望と言う酵母菌が成否を決める。
- ⑨集団で遣る場合、他者提示のアイデアと己アイデアの異なる組み合わせ検討と言う相乗効果が期待できる利点が発生。この時、個室作業(集中)と会議室作業(情報交換)の違いに注意。個室と会議室を何回も往復する。
- ⑩行きずまったならば**原点-原理に再帰する!**。再構成復帰作業を躊躇しない!!。

③如何に結果を検証するか:

- ①直感を判断に使うな。希望を押し付けてないか。都合悪い事を無視してないか。
- ②出来上がったと思うな、上下順逆縦横に批判せよ。
- ③結果を素朴に説明できるか、逆に素朴な解釈を押し付けてないか、
- ④正しい結論は一個に留まらず、次々に良い成果を大量産出する事がある。
後続なき単発成果は疑うべし。

一付録7:経験的に推定されたCIAマニュアルー。

筆者は米外資企業勤務を端緒にCIAを敵に回す30年を体験、多数文献資料も参照した。

① CIAの目的と思想:

①建前は米国国益、実態は米国極右ゲルマン系支配層の世界規模権益拡大の為。典型はBush一族とYale大学OB秘密結社＝スカルボンズ、彼らはナチスに深く関与、戦後彼らがナチス人材多数を米国に密輸入(paper clipp 作戦)してCIA創設。

－K.Millegan & A.Sutton,闇の超権力.スカル&ボンズ、徳間書店,2002.－

②国民は優生少数貴族権益独占の為に働く奴隷、道具としての国家体制は全体主義支配。18～19世紀ドイツプロイセン独裁国家絶対主義服従＝G.W.Fヘーゲル哲学に由来。

*「全ての国民と天才は絶対者の手先」。

*「正反(常に敵を設定しての)永久闘争史観(弁証法的運動)」。

例)冷戦体制でのソ連、解体後はイスラム敵視政策に。

*「世界史は幸福の舞台でない。幸福の諸時期は世界史に於ける白紙のページである。

何となればそれは講和の時代であって、この退屈な満足は人間に相応しい物でない」。

－W.J.Durant,豊川訳、哲学物語(p279),平凡社,1951－

21世紀ともあろう時代に18世紀貴族哲学が残存してる事を奇異に思われようが、それが**世襲貴族生き残り本能**と言うものである。その典型こそが国際右翼頂点の英国皇室。

世襲貴族と世襲財閥は結合し、恐怖から没落防止秘密国際同盟を作った。

例)ドイツ発祥の光輝結社とスカルボンズ(極右),フリメーソン(権力同盟)。

高地位の高みに在る者が危惧する事は唯一、**没落のみ**,この恐怖が世界に謀略不幸を招く。ならば最終的な救済とは何か。彼らが**サタン**と言われる由縁である。

*人は支配する者と支配される者に分ける事も**悪魔思想**と言う(参考文献14)。

② CIA基本動作(平時は被支配国民を大規模に騙し、言論、察知者等を陰謀で脅迫抑圧):

①民主主義を標榜しながらも米国、日本共に**少数者富&権力独占**があり、**真相隠蔽には国民だましが不可欠**と言う機構がある。その機構中央がCIAである。海外も類似事情。

その巨大富こそで隠れ、操られた政治経済社会を可能にする事は容易に察しられよう。

*米国民所得半分(1988)が1/5少数で独占,David Peaty,Global Challenge,金星堂,1991.

*日本Gini係数0.5263,同係数0.5で所得総額75%?を1/4の超独占(8/25.読売),

源所得-税-社会保険+社会保障給付で10年横ばいの0.38台.だが就業現場等を見れば?

② 米国型愚民化モデルと保守体制:

富(権力)独占がばれたら国民敵意が集中。基本基盤として大量物資供給と享楽全開経済社会(米国モデル)を作り、国民関心をそちらに向ける。**過半数を現状満足に置く**。米国モデルは同時に世界に見せびらかす事で世界を米国主導にする要因でもある。

③ 隠された操り人形全体主義体制<作られる世論と国民思潮=CIA劇場国家>。

マスコミが日常生活深く浸透した現代社会で世論を操作するには(脚本通りに操られた)英雄と悪役が必要。日米共に国民監視政治警察機構が大権力を密かに担う。国民素行調査ファイルを備えた検索計算機がある<WALNAT,小山内,見えない政府CIA,1976>。

支配体制思潮に都合よい人物を選択、彼ら周囲に役者と舞台を用意し、状況を作り出し、事前作の脚本通りを無意識演技させて、それをマスコミに大々的に載せると言う手法。同様に**悪役**も作る。資源日本自立政治を策した既成権力世襲外の土着首相、当時は庶民宰相として

人気を博す。米支配層は危険を察知、そこで賄賂工作の罟を用意。田中元首相のロッキド事件に関する専門家筋の見解<田原総一郎、虎の尾＝米を踏んだ田中>。彼の後継者多数派が崩壊したのが近年のCIA派小泉郵政民営化による切り崩し策。CIA軍需福田派系と土着派田中系は30年に及ぶ長期権力闘争にあった。既述如くCIA舞台基礎は大新聞、放送のマスコミ、芸能スポーツ界、政界、財界、高級官僚、軍警察法曹界、大学教育機関、行政等…。いわゆる日本支配エリート界にある。残る一般舞台が民間に於ける無意識(意識<指導者>)の民間人諸団体組織と民間人協力者。

④ 隠れた謀略による国政支配の為の政治言論思想的な抑圧(日本に於ける反米勢力潰し):

米国は既成体制肯定の二大政党制、どちらに転んでも良い様にできてる。50年体制と言われる自民対社会党体制はそうでなかった。だから左翼社党は巧妙にも潰された。

CIAのやる基本は全域で敵出現を監視し、情報収集で動向を事前予測。対策として組織内部分裂策動を謀略する事にある。分裂策動には組織員の弱点を突くのが常道策。

③ 謀略技術論<対組織編>(飴と鞭としての利益誘導の罟と脅迫・地位失墜・謀略):

充分とはとても言えないが付録5:団結防衛でその趣旨は述べた。補足すれば

- ① 民主的公然組織は情報公開が不可避。敵に情報は当然漏れる。従って
- ② 実力ある組織は敵攻撃がないと当てにしていけない。→ 対敵組織防衛機構の必然性。
* この事情を熟知して保身の為に自ら実力養成放棄を暗黙に図るなら幹組織がある。
- ③ 「攻めるものは勝ち、守る者は負ける」の経験法則がある。現実には攻める力は現代に於いては情報広報力にある。敵は大マスコミを持つ。マスコミ腐敗を大衆に徹底暴く！
- ④ 情報広報力=(根拠信頼性+魅力創造性)×理解(検証)の容易さ×ビラ枚数。
- ⑤ 現代では電子広報手段も発達しており、その利用もある。

④ 謀略技術論<指導者と大衆編>(飴と鞭としての利益誘導の罟と脅迫・地位失墜・謀略):

- ① 基礎は(敵が仕掛ける飴と鞭の)分裂策動の罟にはまらない事。
現代日本は物質虚栄競争が支配、それは所得だけが可能にする。自分だけ旨い想いの罟。敵に恭順姿勢を取れば出世が得られる巨大仕組み支配がある。この問題の克服は皆がこの認識に覚醒する事にある。しからば団結闘争と言う形でしか勝利方法はない。具体的に労組・諸団体、全国横断的な連帯運動、その鍵も情報広報力に賭かる。
- ② 孤立すると勝ち目はない。だから仲間(献身、信頼、寛容)を育てる事は財力に匹敵する。
- ③ 仲間割れの謀略法:
才能地位競争、裏切り、嫉妬、他人の評価不当査定、金銭関係、異性関係、性格不一致、..
ABは仲間、例えばAを不当に優遇、Bを不当に不遇にと言う事を暗示させる。

⑤ CIA心理戦背景に在る技術:

- ① 人の知的能力にさして依らない生存本能(生命危機)、生殖本能(セックス)利用が基本。
前者は脅迫に、後者は罟に利用。金銭地位利権等も醜聞と犯罪誘導への罟に利用。
薬物、飲食、聴覚視覚環境、人的状況での性格心理、身体的応答に関する医学的ノウハウ。
- ② 広告媒体、放送、映画、出版等のマスコミ媒体を通じた人心操作技術。
- ③ 心理戦施工従事者自身に関する心理操縦技術。警察官軍人医療従事者心理操縦術、政治家、組織指導者、官僚役人操縦技術、
- ④ 人をロボット様に操る技術開発、MK(mind kontrol(独逸語))ウルトラと暗殺者操縦。
- ⑤ 大小の破壊工作脅迫から軍事クーデタ等の準軍事も含む心理戦立案技術。

⑥ CIA謀略の具体事例解析。別紙を予定。

⑦誰がCIAか？:

①「本報告が役立つ、逆に CIA を恐怖に感じたらば筆者は CIA 協力者になってしまう」。

②裏切りの日本支配エリート:

筆者体験と外部情報を総合すると次結論不可避。CIA 米国は日本をハワイに続く属州(但し島国日本人特性を最大限利用する事での労働生産隔離州)にしようと目論んでる。常識ある日本人ならば通うな事は許しがたい。一つ視点は米国は世界一、だから彼ら背後に待るが得策と言う現日本支配層に共通する(1)“**甘えの構造**”としか考えがたい。もし彼らが米支配層本心を知らないならば(2)無能力者である。もし熟知ならば己利得しか頭がない(3)裏切り者。付録3言及の**占領下人脈**は戦犯免責と引換え協力者。だが彼ら多くはもう寿命にない。日本国民政治監視にある中央は(4)警察。警察友の会とかで民間にも根を張る。これは筆者経験にも整合(無法被害多数)。警察関係文書を見れば判るが日本警察権力中央は公安＝政治警察(東大法学部支配)だ。因みに自分が大学企業等でのここ一番時に東大関係者が多い事だ。米国支配は Yale,Harbard の学閥。共通点は自分ら高等人種(貴族)は国民税くだから政治に深く関与で食うだ。他方彼らは生産に関する(5)財閥と支配者連合を形成せねばならない。財閥はその権威を(6)皇室との縁戚関係で兜にする。財閥警察連合の日本宣伝省＝(7)電通(社員は支配者子弟が多い)である。(8)軍需産業と財閥(三菱,住友等)は不可分にもある。当然ながら(8)自衛隊幹部は絡がる。自衛隊と米軍の関係はその下請け姿勢からも判る。しかも彼等は9条で出生認知にないネジ曲がり児(一般人は気づかないが彼らは9条劣等感が潜在))。

平時 CIA 主要業務が情報での国民大規模詐欺にある事から(9)大新聞雑誌-TVには格段の警戒が必要。その話題中心が政治経済社会と(10)芸能スポーツ界にある。近年の芸能スポーツ人の人気だけでの保守政界進出に注意。最基本が学校教育、特に(11)**歴史&科学**は国民認識で決定的に作用してる。だから保守政治が**教科書問題と教師管理**に神経を異常に尖らす理由がそこにある<民は(支配者に)頼らしむべし,(真実を)知らしむべからず>。ネット情報には混乱雑音性情報も満載である事に注意、稀有真実情報を埋めてしまう為。

③政治警察と天皇制:

戦後政治体制悪根幹が戦前天皇-華族-特高(政治)警察体制と全く変わらぬ事が判る。戦後道徳一変が国松長官時代のオーム事件だが、彼は天皇と謁見してる。筆者知人にも元華族で天皇謁見者がいる。両者は悪役で共通。昭和天皇は自衛隊関係者ともよく懇談したそう。天皇家は本来政治不介入が原則。だが実態は戦前同様なのだ。国民を威厳一括できる特効薬が天皇(若人には効果はないらしいが)。近年マスコミの復古調にも注意。右翼と警察は天皇体制を兜に無法政治弾圧を平気でやる。筆者は具体証言用意あり。

* 赤間剛,昭和天皇の秘密,三一書房; D.Bergermini,天皇の陰謀,現代書林。

④日本最後の機会か!:

小泉時代から世間で殊更に議論になる**格差化**は健全な応答だ。その根源を明かすのが本論でありたい。皆の意見が合致できる事は滅多にできる事ではない。

⑤日本解放闘争が勝利できる根拠:

日本解放には**真実真相暴露**広報が不可欠、それは同時に裏切り者暴露になる。即ちこうなると彼らは自身地位破綻を恐れ、解放に抵抗するだろうが決定的な事は彼等エリートは**圧倒的少数派**である事だ。筆者らが勝利可能性を言う根拠はここにある。

一付録8:日本政治真相を言えば<多党分列弱体化策による保守独裁>—<本付録は来年改定>。

付録3冒頭で指摘如く、戦後日本は実質自民一党独裁政治だ。しかも自民支持者は1/4程度ではない。何故か？。原因は唯一、野党多党化で分列するからだ。現状最大は無党派！。「政治が過去の様に面白くない、何ら救済にならない、真面目に知ると無党派になる」。しかしそれでは敵の思う壺！、政治本来とは徹底した**”政策追求のみ”**なのだ！。

注：自民 19.2, 民主 11.0, 公明 4.2, 共産 1.3, 社民 0.8, 国民新党 0.1, 無支持 61.9%。<時事通信社 web 上の 07/7/6 月世論調査, 各社で大差?! , 筆者は無支持大を意図的選択した>。

①現状は米国 CIA 目論見通り！<分列策動稼動中！>。

①自民支持者僅か 1/4 で政権獲得とは願ったり適ったり。まともな国ならありえない事！。

②**公明党**: 戦時中指導者は政治思想犯として収監の英雄、戦後 GHQ で解放、以後 CIA コネになる。現指導者池田大作は世界保守権力同盟者か？。彼の海外各地評価報道が国内創価学会員支持の大きな動機を形成。実態は選挙マシン、自民補完の。

*日蓮宗系は教祖以来、妙法華経が平等、民主主義を説くから政治運動に関与？、戦前国柱会等からは奇才宮沢賢治、石原莞爾將軍(満州事変戦犯罪で自首、戦後軍備放棄論)を輩出。

③**日本共産党**: 戦時中指導者は政治思想犯として収監の英雄、戦後 GHQ で解放、以後 CIA コネになる。近年は天皇制公認、行政公共的機関(類似の三菱、東電も)に党員を抱える。公明保守補完に対して、共産は野党逆補完の選挙での野党票潰しで実質保守補完。左翼を標榜しつつ、実質実態は右翼実働。党員だましの各種技術は CIA 流儀の公明に共通。公明日共救済は現 CIA 指導部の一掃浄化の内部革命しかない。

④**民主党**:

いつか自民一党独裁がバレタ時に、安保廃棄社会党に変わる保守政権と言う不浄目的で発足。だから元自民黨員、良家出身型若手保守系多数を抱える。だが一度野党になり、自民対決姿勢が無ければ国民支持無し of 当然を知る。肝心の思想政策教義と言う党魂を欠いての選挙用議員同盟では馬足露出は逃れがたい。逆に**党魂**無ければ、国民の方から提供、再教育できる可能性も無きにもあらず。だが田中康夫や大橋巨泉と言う日本を代表する最高の良心(情報装備では?)両名がいずれも離党結果を見てる事から内部には反浄化機構があるらしい(9月田中氏と民主党復縁)。自民並みに不祥事が後を絶たない。自民福田小泉安倍系は明白な軍需 CIA 派だが、民主党を裏支配する保守勢力は誰かだ?! 。

⑤**社会民主党**:

惨敗社会党の焼け残り。社党敗因は労組系指導者出世最終街道=国会議員職と言う辛い批判は正しい。真の政権奪取国民政党たるには相応の**政策技術開発研究教育機関**に設備投資、実力養成を図るべきだったが保守政治糾弾の議会英雄と選挙用議員同盟で終わる。民主党が前述状態だから社党思想をつぐ同党に存在意義は確かにある。だが余りに策と施工能力がない。逆に**党魂**無ければ国民の方から提供、再教育できる可能性も無きにもあらず。逆転可能性はあるが今の指導部は実働保守派。

⑥**その他の政党**:

多様な主張議論を公言できる自由と創造性の批判保障は健全社会の不可欠要件である。議論までならば其れで済むが多数派工作・**政権奪取で政策国民供給**と言う政治本来責任の視点に立つと主義主張の徹底淘汰を推進、**真実真理**を一つに絞る責任がある!。でないと国民に選挙死票を作るだけの実質保守政権裏応援団の詐欺行為になる。まして小選挙区制度は死票がとて多く保守有利にできてる。結局行き着く所は国民の大同団結しか救済法がないと言う紛れも無い現実。

②日本人を回復する為の大同団結必須政策:

政治評価は政策実現一つで測るのが正論だ。なれば結果としてあるべき政策論の方から政党を評価すべきだ。無視不可だが政治人物地位権威は最終的に関係なし(比例代表制)。
⊗:政治に限らない事だが物をやるには全体原理原則を定めて、その後に優先順位に従い詳細部分を設計する高層ビル建設の手順が正解。初めに目先だけを主張して始めると最後に全体矛盾に出会い破綻失敗が起こる。全体を見通して後に動き出す。

①政策基礎理念と目的:人は共に生きるべし(連帯して差別主義=サタンと闘う!!!):

- (1)自由平等博愛共和制国家化、献身寛容信頼非戦平和友好、 → 憲法1条改正。
- (2)組織指導者は門閥出生等無関係に、組織貢献実力のみで測定評価選出(民主主義原理)。
- (3)次期指導者育成環境としての全国民生活安定化と文化国家達成、
*「人は食糧、住宅、エネルギーを確保すれば自由だ! ⇔ 世界天候異変対応策!」。
- (4)以上理念の国内&世界普及に努力する。

②内外情勢認識と内政外交戦略:

内外長期歴史展望に立つ政策案。まずサタン米国隷属政策を解き、国民解放を図る。

- (1)米軍 CIA 基地撤廃の日米安保廃棄。→ CIA 弾圧装置排除と自由言論政治活動の保証。
戦前戦後を通じて右翼結託の国民政治威嚇装置としての天皇制廃止、又以下に連動の植民地体制国民監視制御の政治警察廃止と警察・自衛隊民主化としての労組設立。
国内基盤経済社会完成遂行策と同時に世界諸国解放と開発参加に発展する。

(2)日本再生復帰作業<基礎理念とシステム原理再考 → 詳細部分設計>。

上記①政策基礎理念と目的から従来制度政策一切の基礎からの見直し作業遂行。

- * 科学宗教基礎論、政治経済司法教育制度基礎、経済構造基礎の見直し。文化芸能等。学校教育制度と(魂=ソフト)の見直し。⇔ 文教政策
目標としての生活自立心と付随能力付与(問題発見能力,対人技術=心理,倫理)。

(3)世界各国との平等平和外交と通商文化交流政策。

(4)EUと同思想でのアジア共通経済圏 AU 構想<アジア共倒れ防止の最終策>。

(5)国内社会生活基盤完成と対外諸国開発参加政策<世界との最終共存政策>。

- (a)食資源自給化策と農林水産業参加促進政策。農林水産業基盤整備策、融資政策、
* 休耕地利用×退職者等参加=小農大国(農業経済学 叶氏?)。
- (b)公的民間的住宅供給政策(流動性を高め、需給整合と低価格化実現でロン負荷軽減)。
- (c)多様なエネルギー供給策と技術開発促進。 ⇔ 資源循環型産業。
- (d)産業国際再編成と国内サービス製造業構造改革。
* 主要所得雇用資源がサービス、製造業は継続。生活視点で将来像を設計せねばならない。
* 最終的解は国際分業形態、京都議定書方式で各国間調整と国内政策(AU 構想)。
日本国内特性を考えると資源非依存高度技術化の方向。⇔ 産業&教育政策。
第二外国語推進と技術資本人材で海外協力政策。 ⇔ 産業&教育政策。
* サービス、製造業は過剰生産に推移、国際的時短政策。 ⇔ 京都議定書方式。
* 食糧素材資源産品は世界的需要逼迫に推移。 ⇔ 資源循環産業。
- (e)総国民所得と分配(雇用制度&税福祉再分配)政策。 ⇔ 格差解消政策(憲法 25 条)。
ある者がおさめるの税制原則と財政政策(公債問題)
生活保障策(食糧等と住居確保)
雇用政策 ⇔ 産業政策。
高福祉化と不可分の行政(民間提携も含めて)の公正効率化技術開発。
異常気象災害付随の救済財資源(福祉防衛再分配)。
- (f)武器よさらば!:自衛隊の国家国際建設隊へ再編成<軍事諜報部門は国際情勢次第>。

③実態的に返済不能な巨額公的累積債務問題(一般会計 800 兆+非一般会計債務)+の秘密:
戦後日本は戦前の失敗から公債発禁政策にあったが 1965 年佐藤内閣時代の福田蔵相発案で始めて戦後の赤字国債発行がされた。2007 年一般会計累積債務は 800 兆円台。国の総所得 = GDP ≒ 500 兆円台だから返済不可能とは断言できないにしても困難は明白。より根源的根拠は通貨資産総額 - 負債総額 = 0 の会計原則に従う 0 サム定理である。国債依存の政府財政は信用一つで成立、もし返済困難事情が発生すると一気に信用喪失、借金すら不可能になり、行政不能と国民生活破綻が起こる(07 年夕張市)。日本経済将来を想定する時、最大困難の一つ。ではその解決法とは何か？。

①0サム定理: <好きな諸氏は自ら証明されたし。>

多く諸氏は学校で数学嫌いになったかも知れない。だが差別すると大損する。物サービス債権取引は2者間で通貨と引換えになされる。この時売買前後に於いて持ち金両者総和は不変量になる。買い手の通貨減分が正確に売り手通貨増分になるからだ。さて世の中全部の取引は前記2者取引総計だから、やはり通貨資産総量は一定値不変量。問題とする一定値は0になる。初めの国家認定通貨印刷発行は擬似負債で始まるから8だ(発行紙幣の返済義務)。でないと国家製偽札作りになってしまう。

☞:06/3月米連銀は通貨供給量公表停止, 石油穀物等のインフレは\$過剰の嫌疑!。

何とどの経済教科書を見ても0サム定理が書かれてない!。これは経済理論以前の会計原則による数学定理。だから既成経済書を真に受けると危険、大損する<逆に誰かが詐欺で大儲け?!>。0サム定理原則に従うと負債最終決済は債権放棄になる。これは債権者にはきつい事である。

②資本主義に於ける”経済成長”が特別に重視される経済指標である理由:

経済成長では物サービスと債権(資金調達としての新株発行は負債でない賭け配当目的の投機資金)売買が増大する。それに関与する通貨総量が増大せねば取引支障が起こる。最終的にそれは負債だけが可能にする。金融機関融資である。元本返済可能になるには負債者が儲けねばならない。とすれば買い手財布は減る。その買い手は誰かから儲けるから、……。要するに成長と言う自転車操業なのである。もし自転車が止まれば倒れるが資本主義原理!。専門語で言えば安定性とはある中心状態の周囲を緩やかに前後左右振り子する模様を言う。逆にある中心状態から一方的に時間経過と共に増大、減少で離れて戻らない事を不安定と言う。

③経済系は一般に不安定系になる。理由は好景気で所得増、だから購買増にもなる。景気を見込んで債権も売れる。それは更に好景気促進に作用、だが購買欲(資源制限もある)は無限でないからどこかで購買増総量頭打ちでストップする。すると所得が反転減に、当然購買減にも作用、不景気が起こる。債権破綻も発生。景気底に至る。結果が原因を常に促進する形(正帰還系)になるので初期状態から一方的に離反傾向になる。不景気打開は新規需要発生で回復する事がある。近年の例はインターネット。通うな事情でよく言うのが政府財政支出増減、中央銀行金利操作等による(引き締めと促進)経済安定化制御国策である。保守派の言う自由経済とは0サム定理の負債部分を国家にしわ寄せし、己資産は太らすと言う泥棒政策に秘密がある。

④日米現政治が膨大債務を実質無視する口実=「経済成長持続あらばいくらでも先延ばし!」

現状だがこの路線は贅沢終無し追求、だが格差拡大、資源飢渴、天候異変招来で地獄への道。格差拡大の思想裏には落ちる多数を作り、殺せのサタンが隠れてるのだ。

⑤米支配層が嫌う政権実現時、海外勢が国債売り浴びせで暴落債権不買になると財政危機に成り得る。だから野党は日常から政権獲得前に累積債務の時限爆弾性を攻撃せねばならない。本項目⑤は両刃の危険がある。この危険性で革新政権忌避だと逆に敵の思う壺!。

→本質的に同じ問題だが**革新政権破壊**がCIA筆頭任務である。だから本論で殊更にCIA問題を言及する理由がそこにある。故に野党と労組、その他民主団体はCIA徹底研究の要。
参考書：小山内宏、見えない政府CIA、ベストブック社、1976。

(6) **税とはある層から得るのが常道**という物。本報告序文相当でも指摘如く本来富裕層課税で賄うべきを借金に利子を付け返済は二重搾取と述べた。野党はこの部分も徹底攻撃せねば嘘！。

政治本質とは国民から税を供託され、対価サービスを施工する事。だから恩恵をより受けてる者が相応対価を支払う、あるいは本論主題である”共に生きる”を否定するかの選択でもある。野党にしても将来税収減、支出増に対して**消費税率増**を匂わす。だがこれほどに逆進性のひどい税制はないのだ。税に対する姿勢を見れば、誰の味方かが判る。

(7)財布は命の次に大事、だから**税制と債務問題**言及は政治生命を賭ける本物政治家の仕事。正しい減税はあるだろうが、減税を訴える候補者は票を金で買う買収行為。それを理解できる知性寛大な有権者大多数が無ければ、期待される本物政治家は育成しない。

(8) **福祉重視政策と官僚行政肥大問題：**

左翼思想弱点は福祉重視＝行政肥大化が官僚増殖の無能無駄を生む危険性だ。今回の社会保険庁の醜態を超えた無責任無能ぶりは行政機構に大きな不信を生んだ。社保庁労組自治労は左翼、だが結果実態は右翼加勢に動作してる。言う事とやる事の違を見極めねばならない。筆者は高級官僚紙試験採用に大いに疑問を持つ。と言うのも結果から見れば紙試験は利己主義小人ばかりを集める傾向が強い。そも受験勉強は全く個人作業で、動機が個人栄達欲にある事を否定できまい。ならばどうするか。問題意識を持つ民間経歴者を公正な採用機関(選挙採用も含む)を用意して高級官僚を養成雇用する新制度を構想(具体策は判らない)。

(9)政策と施工能力だけを問題にする選挙制度＝**比例代表制**(多党分裂で施工能力減問題)

(10)筆者義務は本当だけを報告、現状延長も革新も一度は地獄?!、ならば後者を推奨との趣旨。

④ **上記問題政策開発に利用可能な技術、思想宗教、機関等：**

(1)論理学、宗教、大学&諸研究機関、民間研究者、ジャーナリスト、web情報等、

警告：本論趣旨が既成情報否定で始まった事情からして、**頑固既成論者は不適格。**

(2)専門家の中から一般家志望者を募り、研修育成して**指導者人材養成。**

* 個別問題対応の専門家は多い、彼らを統率しての大局問題解決指導者＝一般家が必要。

補足：今産業界はある意味で行き詰まりの重箱隅を突く様な仕事をしてる。だが**根幹**に之ほどに問題山積み、日本の真の高度成長は今から、10年あれば結構やれます。
冒頭問題に答えれば、以上政策案を肯定する政治家が本物と言う事。

一付録9:サタン闘争構図(要約編):少数派裏切りエリート VS 圧倒的多数派市民一。

圧倒的多数派国民が何故、少数独裁支配に屈服するのか?、構造の謎を表解!

<p><<サターン>> 少数独裁支配者と侍従エリート</p> <p>(1)騙しと脅しの支配技術。 (悪知恵に関する天才=サタン性).</p> <p>(2)大財力で(騙しと脅しの)エリート買収。 *騙しエリート=マスコミと既成教育体制。 *脅しのエリート=企業人事管理、住宅ロン、 政治警察&軍特殊部隊,下請け右翼</p> <p>(3)大衆からのエリート採用で裏切りの勧め。</p>	<p><<人類圧倒的多数派>> 多数派被支配国民と大衆指導者.</p> <p>(1)真相認知の知力欠如(騙され脅される) (善人無垢か小悪人) *科学宗教の真理真相認識普及。</p> <p>(2)小財力で無力。 *だが(小財力×多数団結=大財力)。 *VS 労組団結,公共住宅供給,官僚民主化 警察民主化,軍民主化,</p> <p>(3)大衆から団結の為の指導者選抜と育成。 *上記大財力で民主化技術開発機関。</p>
<p>①世襲貴族&財閥。国際没落防止秘密同盟。 ②思想:勝者優生ダーイニズム=差別主義。 優生貴族専制の為の奴隷国家国民。 (米国+王制ゲルマン系国)。 無神論現世放埒主義=残忍謀略非道。 =好戦主義(謀略機関と軍需産業)。</p> <p>→現世界は米を中心とするゲルマン支配、 その動機はあくなき支配追及姿勢にある。 (世界史は幸福の舞台でない...この 退屈な満足は人間に相応でない.Hegel)</p> <p>③権力地位は合法的獲得に見えるので敵意 が発生し難い。権力財独占も見えない。 ④大量生産消費経済社会化で富権力独占と 大衆大規模騙しの両刀党戦略。 ⑤マスコミを通じて人心思潮支配。 ⑥番犬エリート使用で謀略テロ脅迫と戦争。 (無神論現世放埒主義の残忍謀略非道)</p> <p>⑦ゲルマンエリートは自身の異常さが判ら ない。もしくは元ナチス高官フォンブラ ウン開発の米国繁栄象徴たるロケット名 がサターンとは自身を承知。独逸は二度 過去に類例なき大戦を開戦(その意味で 日本も同類).陰惨たるナチスとCIA 過去をよく調べるとよい。</p>	<p>①平民(基本理念を統一した組織は無い?). ②共に生きる=無差別主義,平和主義。 平等公正な指導者実力選抜=民主原理と 次指導者育成基盤全国国民福祉の為の国家。 有神論=来世信仰と現世道德規範主義。 *上記は従来非科学とする巨大詐欺が支配。</p> <p>→南方中東ラテン系は文明発祥地、 だが彼等は満足を知る大人故に停滞。 停滞こそが実は世情安定性なのである! この逆説理解が一つの鍵であろう。</p> <p>③被支配奴隷である事すら気づかない。 生産分の搾取泥棒に気づかない。 ④大衆皆が同じと思うと矛盾に気づき難い。 大量生産物資蔓延生活で一応の満足。 ⑤既成マスコミの大規模詐欺性を知らない。 ⑥大衆中少数の知識人,指導者を謀略抑圧。 大衆化運動弾圧,革新政権国家を暴圧。 *対抗手段としてはゼネスト等がある。</p> <p>⑦人が生きる事本来に超困難などない,それ は動物を見れば判る。だから全て人自身が 持つ”不完全”さが招いた自業自得。 原理原則に戻り、本論再検証を！。</p>

→本報告には筆者の誤りがあるはずで,ぜひ修正して頂きたい。

一参考文献目録一

1:旧約聖書(創世記)

2:井筒訳,コラーン(上)p204,七 胸壁—メッカ啓示,全 205[206],岩波、1957.

3:遠藤誠,般若心経,現代書館,1984

4:鈴木永城,お経の意味がやさしく判る本,河出書房,2001

5:桐山靖雄、求聞持聡明法、平河出版、1989.

* 技術的,局所的知能は脳,宗教的大局直感は間脳.前頭葉現代文明欠陥説は重い指摘！。

6:

7: 注:公共図書館利用本等に名前不詳あり、後日調査予定。

8:

9:

10:歴史読本,特集 86/9,世界の秘密結社、87/3 世界の謎ユダヤ,
88/9 世界を動かす謎の国際機関,

11:

12:

13:

14:神代康隆、神の計画書、黙示録大預言、学研、1983.

15:赤間剛、神々の陰謀、同Ⅱ,同Ⅲ,時の経済社、1984,1985,1985.

16:赤間剛、ヒトラーの世界、三一書房、1983.

17:赤間剛、アメリカの秘密、三一書房、1988.

18:K.Millegan & A.Sutton,闇の超権力.スカル&ボンズ、徳間書店、2002.

* 国内市販陰謀論書と言えばユダヤとされてきたが、現実のゲルマン系右翼大問題に切り込んだ珍しい問題現実をよく解析した好書。国民は奴隷の貴族独裁国家ヘーゲル哲学。

19:浜田和幸、ブッシュの終わりなき世界戦争、講談社、2002.

20:田中宇、仕組まれた9/11,PHP 研究所、2002.

21:ベンジャミン フルフォード、9.11 テロ捏造、徳間書店、2006.

22:Jonathan Vankin,超陰謀、徳間書店、1995.

23:田中孝、イスラームのロジック、講談社、2001.

24:小室直樹、日本人の為のイスラム原論、集英社、2002.

25:Piers Vitebsky、中沢新一訳、シャーマンの世界、創元社、1996.

26:G.Allen,湯浅訳、インサイダー、太陽出版、1984、

27:G.Allen,高橋訳、ロックフェラー帝国の大陰謀、自由国民社(1)(2)、1984、1986.

28:日高義樹、アメリカ国粹主義、光文社、1993.

29:日高義樹、白人の狂気と日本、光文社、1997.

30:馬野周二、藤原肇、日本の危険<日米対決の深層>、東明社、1986.

31:馬野周二、アメリカ帝国の大謀略、徳間書店、1982.

32:William Blum,益岡賢訳、アメリカの国家犯罪全書、作品社、2003.

33:副島隆彦、世界覇権国アメリカの衰退が始まる、講談社、2002.

34:M.Hudson,広津訳、超帝国主義国家アメリカの内幕、徳間書店、2002.

35:倉前盛通、悪の論理、日本工業新聞社、1997.

36:佐藤朝泰、閨閥、立風書房、1985.

37:森川哲郎、戦後史・アメリカ謀略の謎、日本文芸社、1972.

38:山川暁夫、CIA、教育社、1978.

* 多少古い小本にも係わらず、現在すら通用するCIA国内活動暴露書、著者は米国亡命希望ソ連兵発言(CIA 強制誘導で)でソ連スパイと名指しを受けた過去もある。

- 39:D.W.W.コンデ、CIA 黒書、労働旬報社、1963.
- 40:小山内宏、見えない政府、the CIA,ベストブック社、1976.
- 41:
- 42:
- 43: 注:公共図書館利用本等に名前不詳あり、後日調査予定。
- 44:
- 45:
- 46:清水義雄、記号論理学、東京大学出版会、1984。
- 47:鈴木基司、構造的物理認識の為の連続値論理学、時事問題解析工房、1992.
- 48:鈴木基司、思考推進言語と真相世界、時事問題解析工房、1993.
- 49:鈴木基司、現代物理科学最前線、時事問題解析工房、1998.
- 50:鈴木基司、量子重力力学と最終統一場論、時事問題解析工房、1997.
- 51:鈴木基司、量子確率過程力学、時事問題解析工房、1990.
- 52:鈴木基司、経済回路網力学、時事問題解析工房、1998.
- 53:鈴木基司、非局所的双極子場の量子論、〈改定中〉、1992.
- 55:
- 56:
- 57: 注:非公開の自著文書あり。
- 58:
- 59:
- 60:杉本良夫、超管理列島ニッポン、光文社、1983.
- 61:土井健朗、甘えの構造、引文堂、1971.
- 62:J.A.C.Brown,宇津木訳、説得と誘惑の技術、誠信書房、1967.
- 63:苔米地英人、洗脳護身術、三オブックス、2003.
- 64:佐藤康行、貴方の悩みは一瞬で消せる、ハギジン出版、2002.
- 65:高畠穰、孫子の兵法、日本文芸社、1980.
- 66:会田雄次、決断の条件、新潮社、1975.
- 67:
- 68:
- 69:
- 70:宣保愛子、宣保愛子の死後の世界、日東書院、1991.
* 著者は誠実な方でした。
- 71:ジェス スターン、超人ケーシの秘密、たま出版、1991.
- 72:マックストス、ピラミッドパワーを発見した、KK ベストセラーズ、1978.
- 73:マックストス、ピラミッドパワー大予言、徳間書店、1982.
- 74:関英男、超能力、光文社、1983.
- 75:雑誌ムー、(超能力,古代科学等),学研、
- 76:
- 77: 注:超能力関係書では標準科学否定の誤りも多い。
- 78: